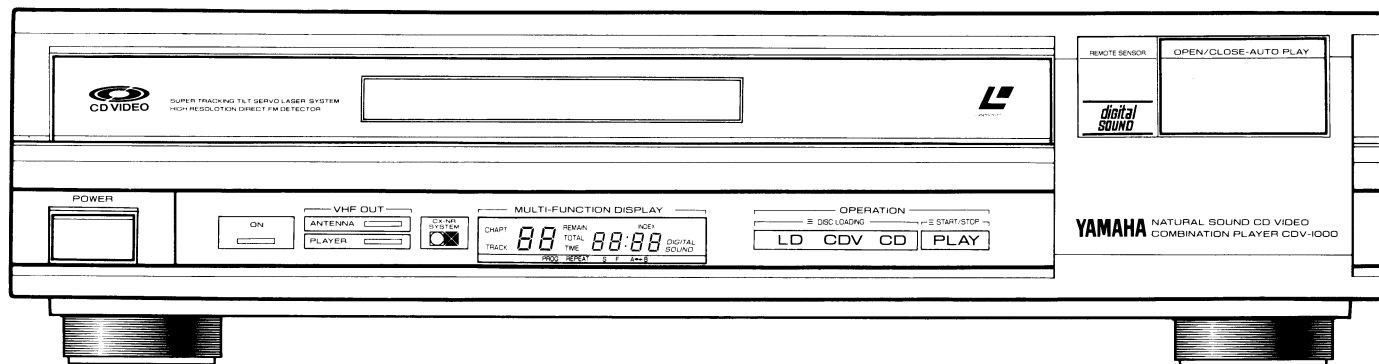




CDV-1000

NATURAL SOUND CD VIDEO COMBINATION PLAYER

取扱説明書



NTSC



ご使用の前に必ずお読みください。

このたびはヤマハCD/VIDEOコンビネーションプレーヤーCDV-1000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDV-1000の優れた性能を充分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

お読みになったあとは保証書とともに必ず保存してください。

特長

- **本機はLD、CD、そして最新のAVソースCDVも再生することができます。**
本機はLD(30cmディスク、20cmディスク)、CDV(コンパクトディスクビデオ)、CD(コンパクトディスク)のいずれのディスクもディスクトレイにセットしますと自動的に判別。プレイキーを押すだけで再生することができます。
- **オートスタート**
ディスクをセットしてディスクトレイを閉めれば、自動的に再生が始まるオートスタート機能を採用しています。
- **わかりやすい画面表示**
動作状態が一目でわかる、多彩なモニター画面表示機能とマルチファンクションディスプレイを採用。ディスク情報や動作状態の表示を確認しながら正確な操作を行うことができます。

* LDはLaser Vision Discの略称です。

目次

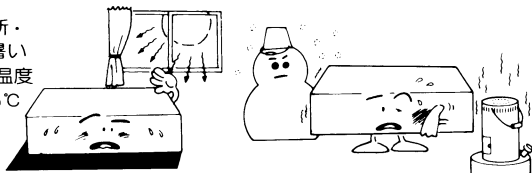
特長	1	サーチ機能について LD, CDV, CD	28
豊かなAVライフのために	2	フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ LD	30
ご使用前に	3	タイムサーチ CDV, CD	31
ディスクについて	4	プログラム再生 LD, CDV, CD	33
リアパネルの名称とはたらき	7	メモリー再生 LD, CDV, CD	35
接続のしかた	8	リピート再生 LD, CDV, CD	36
フロントパネルの名称とはたらき	14	マルチスピード再生 LD	39
リモコンユニットの名称とはたらき	15	静止画/コマ送り再生 LD	40
リモコンユニットを使う前に	18	インデックスサーチ CDV, CD	41
再生のしかた(基本操作) LD, CDV, CD	19	テレビ放送を見るには	42
表示切換について LD, CDV, CD	24	故障かなと思ったら	43
音声切換について LD, CDV, CD	25	参考仕様	45
D/A切換、CX NRについて LD	26	オペレーションガイド	46
スキップ機能について LD, CDV, CD	27	ヤマハホットラインサービスネットワーク	47

本取扱説明書はCDV-1000の取り扱い方を機能別に説明しています。LDの操作をするときは**LD**の項を、CDV、CDを操作するときは各々**CDV** **CD**の項をご参照ください。また、特に明記されていない操作はリモコンのキーによって行ないます。

豊かなAVライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)は、さけてください。



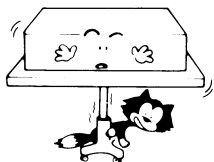
結露現象について

本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！

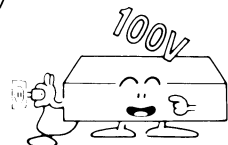


不安定な場所をさけて！

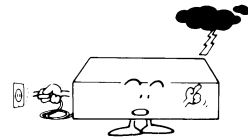


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

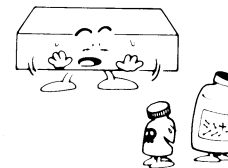


雷が近づいたら

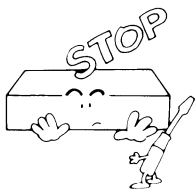


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

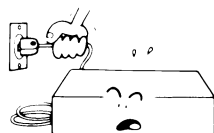
薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！

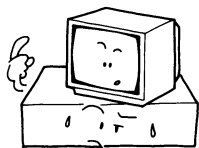


保証書の手続きを！

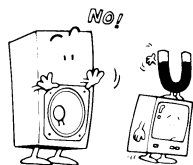
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



上にのせないでください！



磁気・テレビはさけて！



こわれた？



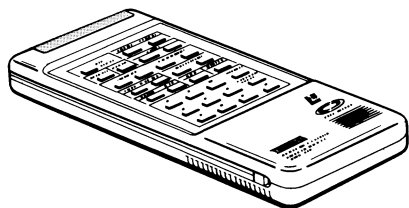
43、44ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

ご使用の前に

付属品を確認してください

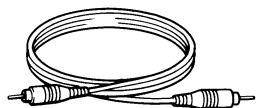
付属品は6点あります。

● リモートコントロールユニット (RS-202)



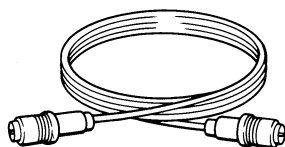
● 映像ケーブル

カラーモニターや映像入力端子付テレビを使用する場合、本機のVIDEO SIGNAL端子と、カラーモニターの映像入力端子の接続に使用します。



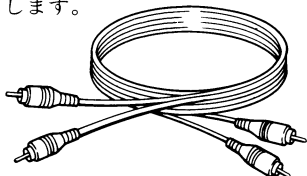
● RFケーブル

テレビと本機のVHF OUT端子を接続するときに使用します。ご使用になるテレビのアンテナ端子の形状によっては、このケーブルの一端を加工して使用します。



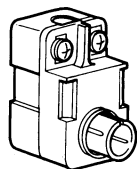
● 音声ケーブル

本機のAUDIO SIGNAL端子とステレオアンプやAVテレビの音声入力端子の接続に使用します。



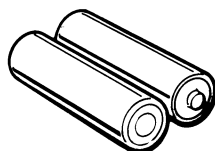
● F型プラグアダプター

ご使用のVHFアンテナケーブルを本機のANT INへ接続するときに使用します。



● 乾電池

単3 (SUM-3) × 2本



設置について

本機の電子部品や、精密なメカニズムを保護し、良好な状態でご使用いただくために、次のことに注意して本機の設置を行なってください。

- 本機の上に物を置かないでください。
- 直射日光や高温の場所はさけてください。
- 水平な場所に設置してください。傾いた場所でご使用になりますとディスクを傷つけることがあります。
- 湿気やほこりをさけてください。

■ 設置場所について

本機を発熱をともなうアンプなどの上に積み重ねたり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので通気の良い場所に設置してください。また、本機の上にも物を載せないでください。

■ スピーカー・テレビ・チューナーの設置

- 本機の上にテレビ(カラーモニター)を設置しないでください。また、テレビ(カラーモニター)の上に本機を設置しないでください。
- テレビ(モニター)はスピーカーの磁気の影響を受けないよう離して設置してください。
- FM・AM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときには電源を切っておいてください。

結露現象について

- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまま1～2時間待ってから操作してください。

ディスクについて

本機で再生できるディスクは下表の通りです

ディスク (カラー)	サイズ	最長再生時間	音 声	回転数 (rpm) 内周→外周
CD (シルバー)	5" (12cm)	70分(オーディオ)	デジタル	500—200
CDV (ゴールド)	5" (12cm)	5分(ビデオ) 20分(オーディオ)	デジタル	2,700—1,800 500—300
LD (シルバー)	8" (20cm)	40分(ビデオ)	デジタル または アナログ	CLV : 1,800— 900 CAV : 1,800
	12" (30cm)	120分(ビデオ)	デジタル または アナログ	CLV : 1,800— 600 CAV : 1,800

■本機には下記マークの付いたディスクをお使いください。

CD(コンパクトディスク)



CDV(コンパクトディスクビデオ)



LD(レーザービジョンディスク)

このマークは光学式ビデオディスクの世界統一マークです。CED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません。



●本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式(PAL, SECAM)の表示のあるディスクは使用できません。

■LDについて

●標準ディスク/CAV

CAV (Constant Angular Velocity) ディスクとも言い、ディスクの内周から外周にかけて一定回転で記録されています。30cmディスクの場合、片面には、最大30分まで、フレーム(画面)数にして54,000枚まで記録されます。

標準ディスクは、すべてのフレーム(画面)に番号がつけられており、トリックプレイ(静止/コマ送り、可変速再生)、オートピクチャストップができます。

また、チャプターサーチ、フレームサーチ、各種リピート再生なども可能です。

●長時間ディスク/CLV

CLV (Constant Linear Velocity) ディスクとも言い、ディスクの内周と外周では、記録速度が一定となるように、回転数が変化します。(内周:1800回転/分~外周:600回転/分) 30cmディスクの場合、片面には最大60分まで記録されます。

トリックプレイ(静止/コマ送り、可変速再生、オートピクチャストップ)はできませんが、チャプターサーチ、タイムサーチ、リピート再生が可能となります。

■CDVについて

CDV(コンパクトディスクビデオ)は、デジタルオーディオ信号とアナログFMビデオ信号を一枚の5インチディスクに収め、従来のレーザーピックアップで再生を可能にしたAVの新しいソフトです。

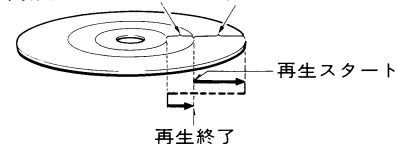
CDVは最長5分間のビデオパートと20分間のオーディオパートによって構成されています。ビデオパートはディスクの外周部分に収録され、回転数はLVの線速度と同様の2700~1800rpm、ディスクの内周部に収録されているオーディオパートの回転数は、CDと同様です。

本機はセットされたCDVのビデオパートとオーディオパートを検出、自動的にビデオパートから再生を開始。CDの再生と同じ手軽さでCDVの音と映像をお楽しみいただけます。

* CDVのビデオパートはCLVで記録されています。トリックプレイはできません。

CDVの構成

オーディオパート (最長再生時間20分) ビデオパート (最長再生時間5分)



ディスクについて

LD(ビデオディスク)の取り扱い

●LDの持ちかた

両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持ちます。



片手で持つ場合

中央の穴と外周部に指をかけて持ちます。



●そりや傷のあるディスクは使わないでください。

ディスクのそりや傷は画質、音質を損ねるばかりでなく、ひどい場合にはセットに損傷を与えたり、寿命を著しく縮めたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

もしディスクがそってしまったときは、右項の「2.もしディスクがそったときは」をご参照のうえ、ディスクを矯正してからご使用ください。

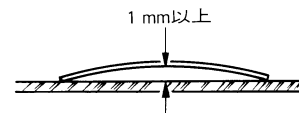
1.ディスクの保管について

そりを防ぐために使用後は、ディスクをトレイから必ず取り出してください。取り出したディスクはジャケットに収め、高温多湿の場所を避けて垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねて保管しておくとうディスクがそる場合がありますのでご注意ください。また、ディスクに付いている注意書も必ずお読みください。

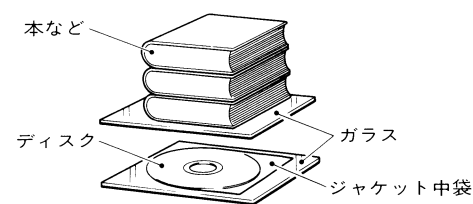
2.もしディスクがそったときには

平らな面(ガラス等)の上にディスクを置いて隙間(目安として1mm以上)ができるディスクはそりが大きすぎます。矯正してからご使用ください。

1mm以上の隙間があるディスクは矯正してください。

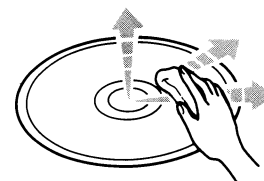


ディスクが変形してしまった場合には、ディスクを中袋に入れてガラスなど平らな板ではさみ、4~5kgの重しをのせて1日ほどそのままにしておいてください。そりなどが軽減されることがあります。



3.ディスクの表面に傷がついた時には

傷が多いディスクは再生中に音が大きくなったり、再生しなかったりします。このようなディスクは本機に異常な負担をかけますので使用をさけてください。また、どうしても使用する場合は、傷のついた部分を歯みがき粉などで平らにみがき上げますと再生可能となることがあります。

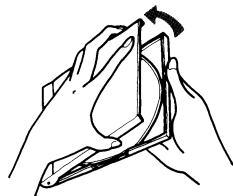


みがく時は放射状に

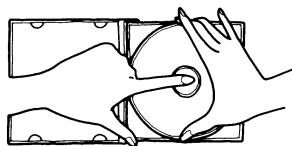
CDV(コンパクトディスクビデオ)、CDの取り扱い

●CDV、CDの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。

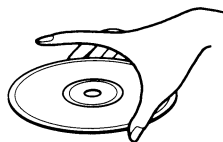


2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でディスクを持ちあげます。

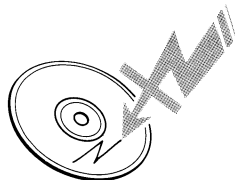


●CDV、CDの持ちかた

ディスクの両端をはさんで持ちます。



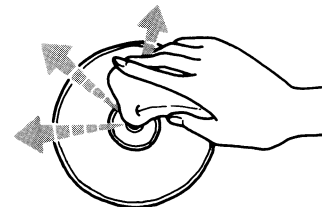
●ディスクに紙やシールを貼り付けたり、キズを付けたりしないでください。



ディスクのお手入れについて

より良い画質・音質でお楽しみいただくため、ディスク面についたホコリやゴミ、指紋などは、柔らかい布でふきとってからご使用ください。

汚れがひどい場合は、水にひたしてからよくしぼった柔らかい布でよごれをふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



放射状にふく

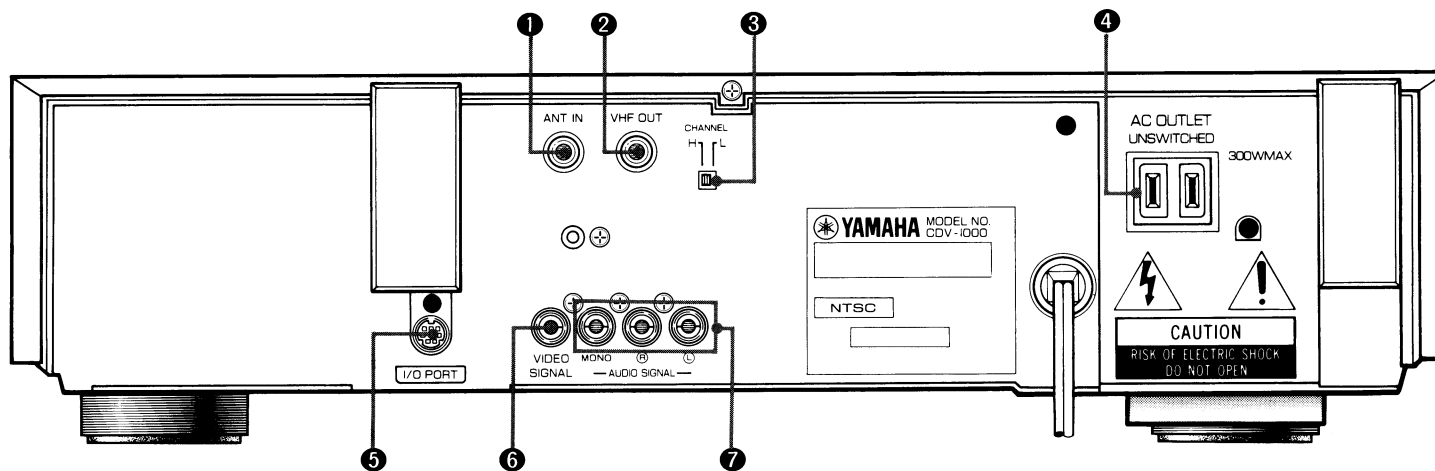
ディスクのクリーニングの際に、ベンジンやレコードクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



ご注意

- ディスクは熱などにデリケートな素材でできています。再生後は必ずトレイからとり出してジャケットに収めて高温多湿をさけて垂直に保管してください。

リアパネルの名称とはたらき



① ANT IN端子

アンテナ イン

VHF用テレビアンテナからの放送信号またはVTRを経由したVHF信号を入力する端子です。

② VHF OUT端子

フイエイエフ アウト

再生する映像と音声をVHF信号にして出力する端子です。付属のRFケーブルを使ってテレビのVHF端子に接続します。

③ CHANNEL切換スイッチ

チャンネル

VHF OUT端子からの出力信号をテレビの空チャンネルに合わせて切り換えるスイッチです。(L: 1チャンネル、H: 2チャンネル)

④ 電源コンセント

消費電力300W以下のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。本機のPOWERスイッチのON/OFFには関係なく常に電源を供給できる予備コンセントです。

注意：接続する機器の消費電力をお確かめのうえ、必ず300W以下の機器を接続してください。

⑤ I/O PORT

アイ オー ポート

将来、本機の機能を外部コントロールする場合に使用する端子です。

⑥ VIDEO SIGNAL端子

ビデオ シグナル

映像信号を出力する端子です。

⑦ AUDIO SIGNAL端子

オーディオ シグナル

音声信号を出力する端子です。再生するディスクによって、各端子に出力される信号が次の表のように異なります。

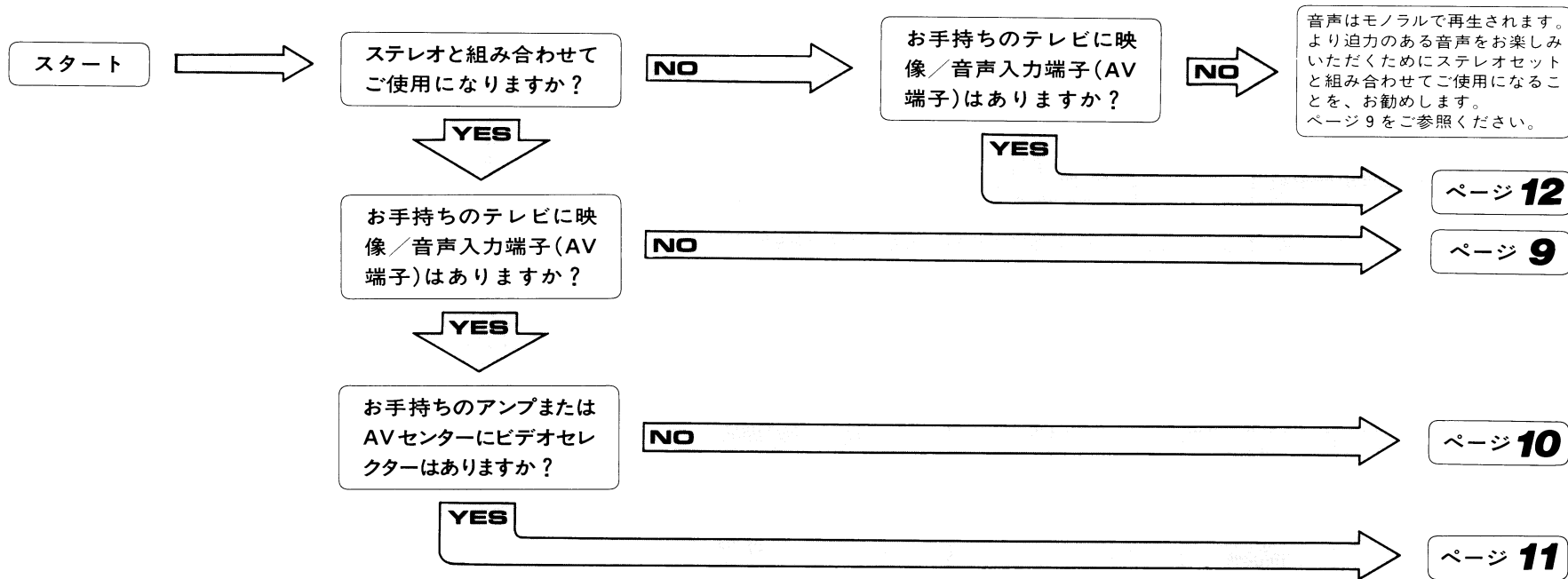
再生ディスク	MONO端子	R、L端子
CD		
CDV	デジタル音声モノラルで出力されます	デジタル音声ステレオで出力されます
<i>digital SOUND</i> マーク付きのLD		
<i>digital SOUND</i> マーク無しのLD	アナログ音声モノラルで出力されます	アナログ音声ステレオで出力されます

接続のしかた

接続の際のご注意

- 電源スイッチ……本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 電源プラグ……接続に誤りがないことを確認してから、電源コンセントに差し込んでください。
- 接続コード……各機器のL(左チャンネル)・R(右チャンネル)を確認して、正しく確実に接続してください。

接続方法は、テレビとステレオ機器の組み合わせにより異なります。お手持ちのシステムに合った接続方法を選んでください。



該当するページを参照して接続してください。

■電源コードの極性表示について

電源プラグはAC 100Vの家庭用コンセントに接続してください。本機の消費電力は25Wです。

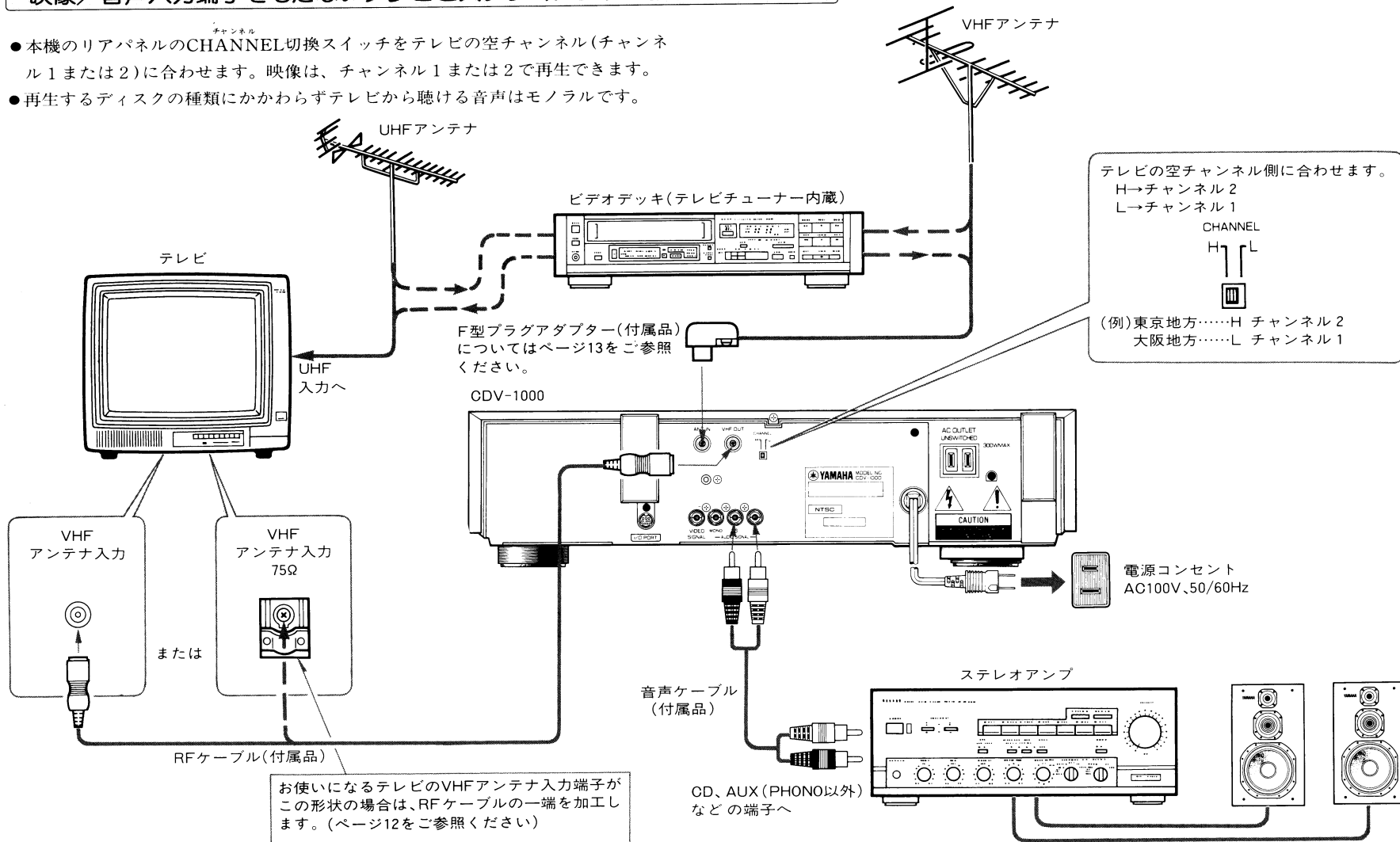
本機の電源コードには、極性表示（電源トランスの巻き始め側を、プラグに“□”

マークで表示）されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。家庭用のコンセントに接続する場合、極性表示のある方を家庭用コンセントの長い方の穴に合わせて接続してください。

接続のしかた

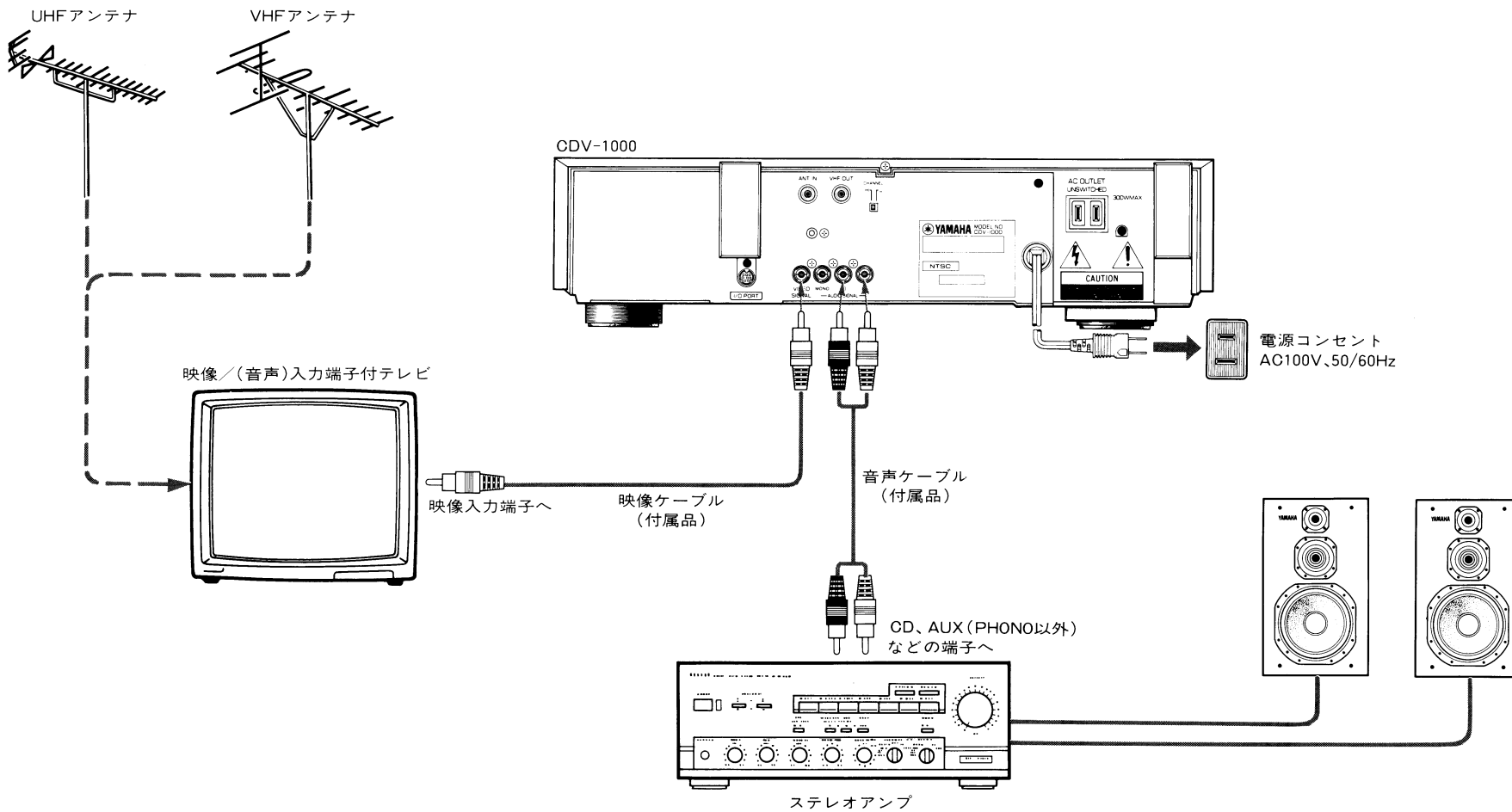
映像／音声入力端子をもたないテレビとステレオアンプに接続する場合

- 本機のリアパネルのCHANNEL切換スイッチをテレビの空チャンネル(チャンネル1または2)に合わせます。映像は、チャンネル1または2で再生できます。
- 再生するディスクの種類にかかわらずテレビから聴ける音声はモノラルです。



モニターテレビとステレオアンプに接続する場合

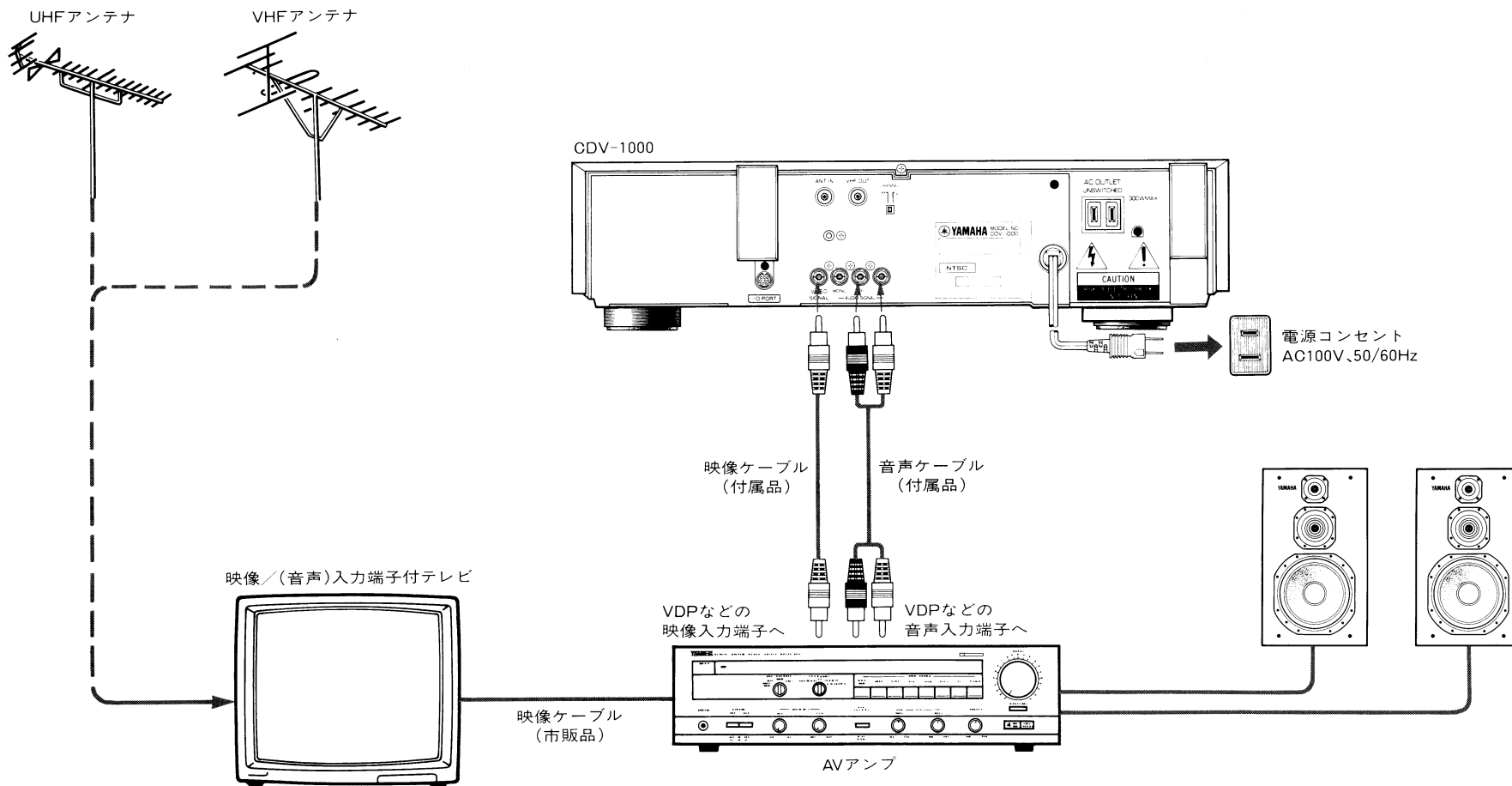
この接続の場合、付属のRFケーブルは使用しません。



接続のしかた

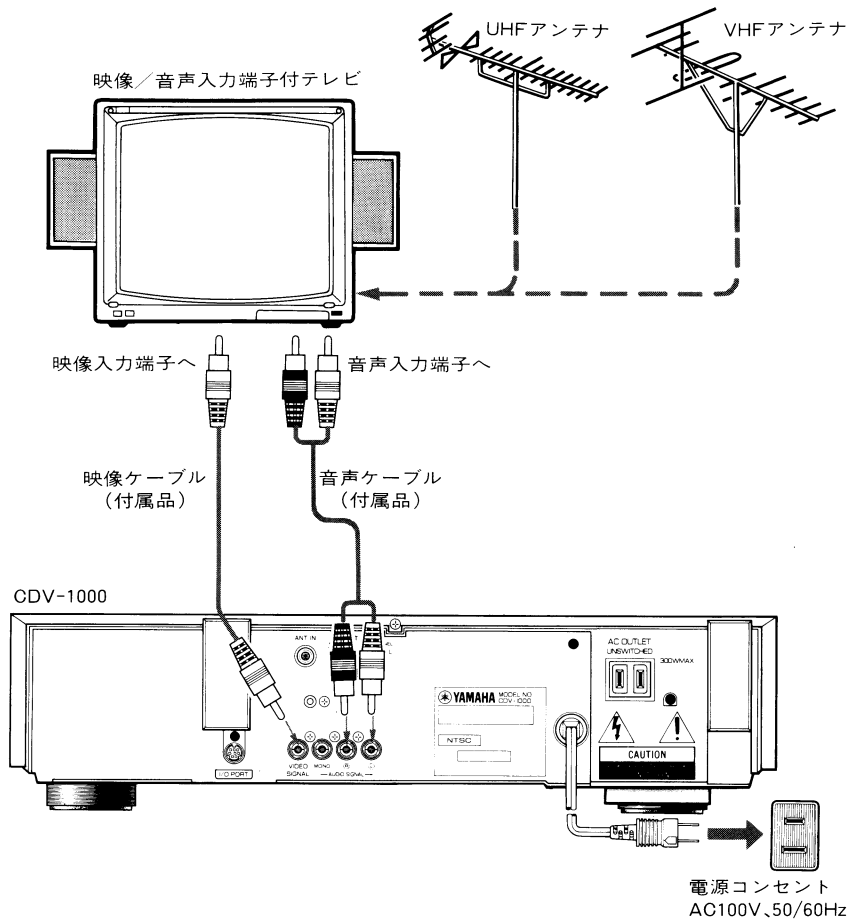
モニターテレビとAVアンプまたはAVセンターに接続する場合

この接続の場合、付属のRFケーブルは使用しません。



映像／音声入力端子のあるテレビに接続する場合

この接続の場合、付属のRFケーブルは使用しません。



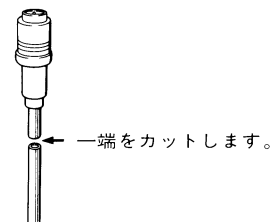
※ステレオセットと組み合わせればLD、CDV、CDの音声をより良い音質でお楽しみいただけます。

■付属のRFケーブルの使いかた

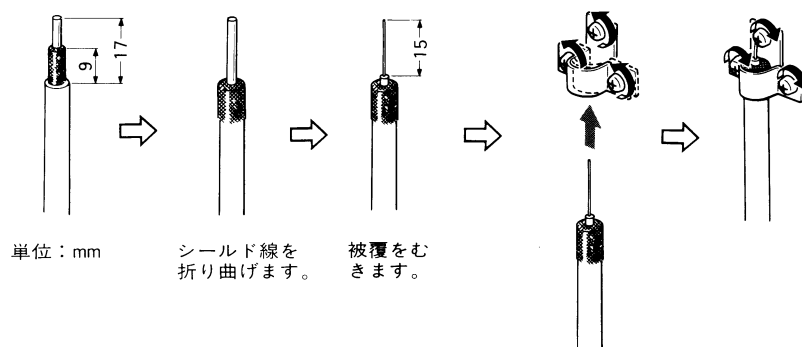
テレビのVHFアンテナ入力端子 (75Ω) と本機のVHF OUT端子を接続するときに使用します。

- VHFアンテナ入力端子がF型ターミナルでない場合は、RFケーブルの一端を加工して接続します。

1 RFケーブルの片方のプラグ側を切断します。



2 ケーブルの先端を加工して、取り付けます。



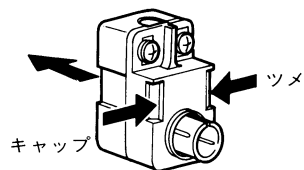
接続のしかた

■付属のF型プラグアダプターの使いかた

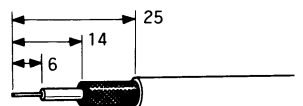
VHF用テレビアンテナのケーブルを本機のANT IN端子に接続するときに使用します。

●アンテナケーブルが同軸ケーブルの場合

1 F型プラグアダプターのツメを内側に押さえてキャップをはずします。

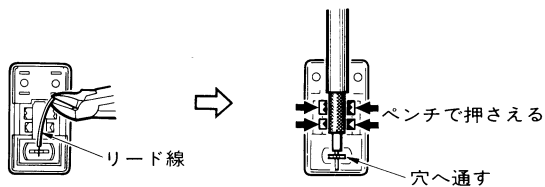


2 同軸ケーブルの先端を切断してから加工します。

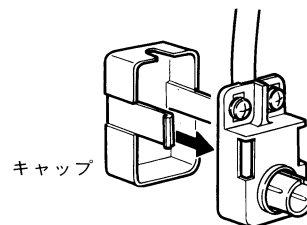


単位：mm

3 赤いリード線を切って取り除き、同軸ケーブルを図のように穴に通し、ペンチで押さえます。

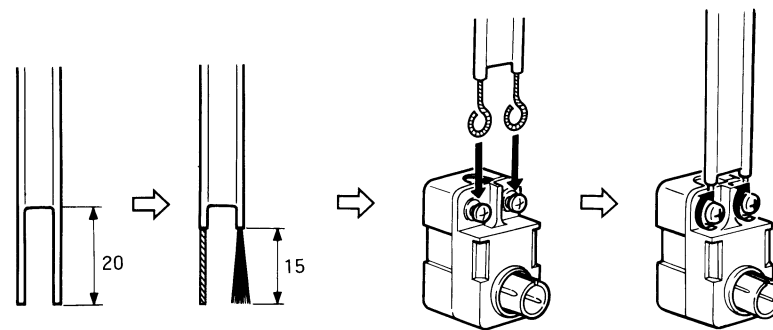


4 キャップの先端部を入れ、次に後部を押し込みます。



●アンテナケーブルが平行フィーダーの場合

1 F型プラグアダプターのターミナルに平行フィーダーを接続します。



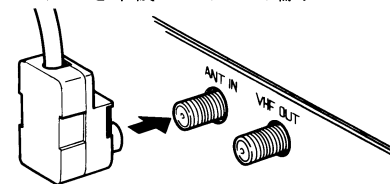
中心部を切り取る

被覆を切り取りフィーダー線をねじる

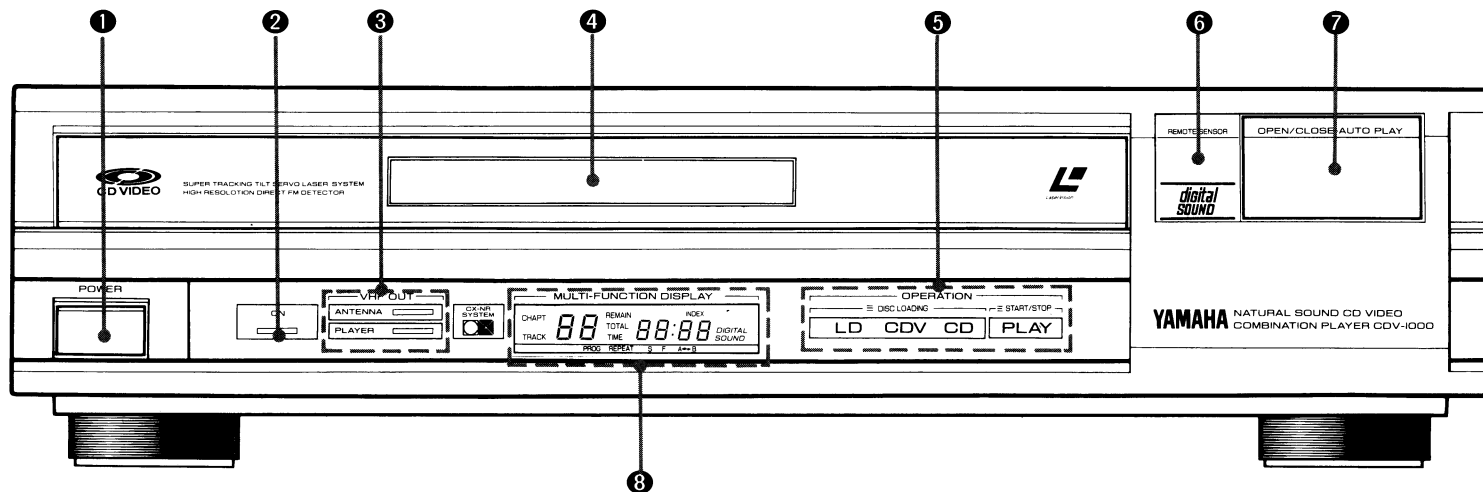
フィーダー線をつなぐ

ネジをしっかりしめる

■F型プラグアダプターを本機のANT IN端子にしっかり差込みます。



フロントパネルの名称とはたらき



①POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。電源が入りますと、電源インジケータや各部のインジケータが点灯します。

②電源インジケータ

POWERスイッチをONにしますと点灯します。

③VHF OUTインジケータ

LD、CDV、CDを再生するときは“PLAYER”を点灯させ、テレビを見るときは“ANTENNA”を点灯させます。この切り換えはリモコンのVHF切換キーで行います。

④ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。

⑤OPERATIONインジケータ

本機の動作状態を表示するインジケータです。

LD CDV CD インジケータ

ディスクの種類を表示するインジケータです。LDをセットしますと“LD”が、CDVをセットしますと“CDV”が、CDをセットしますと“CD”が点灯します。

PLAY インジケータ

再生中は“PLAY”が点灯します。またポーズ中は点滅、ストップ状態のときは“PLAY”が消灯します。

⑥REMOTE SENSOR窓

リモコンユニットからの信号を受光するところです。

⑦OPEN/CLOSE-AUTO PLAYキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。

再生中に押しますと、再生はストップしディスクトレイが開きます。

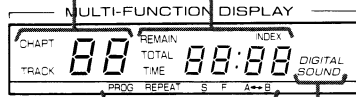
リモコンユニットの名称とはたらき

マルチファンクションディスプレイ

ディスクに記録されている情報の表示やプログラム、リピートモードなどの表示を行います。

REMAIN TIME 88:88	CDV(オーディオパート再生中)、CDの残量時間表示
TOTAL TIME 88:88	CDV(オーディオパート再生中)、CDの1曲目からの総経過時間表示
TIME 88:88	LDのチャプター1からの総経過時間またはCDV、CDの再生している曲の経過時間表示
INDEX 88	CDV、CDのインデックスナンバー表示
P-01	LD、CDV、CDのプログラムナンバー表示

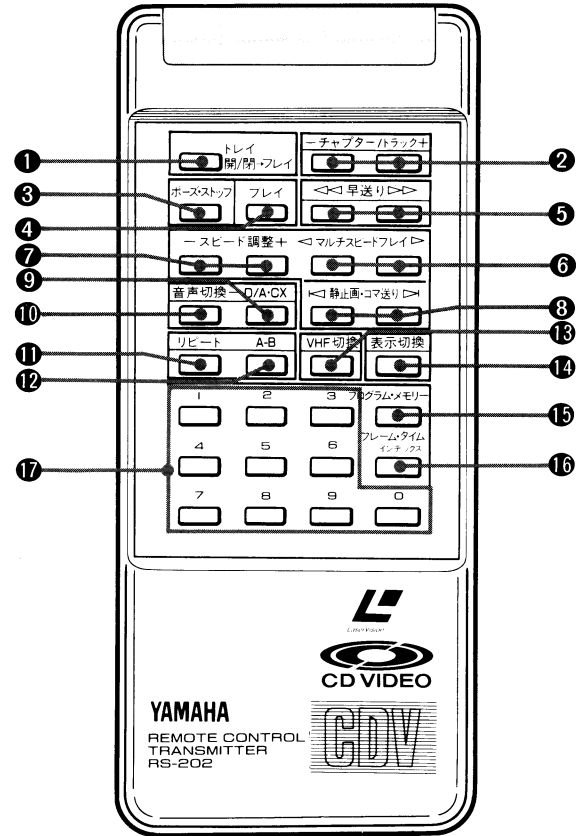
CHAPT 88	LDのチャプターナンバー表示
TRACK 88	CDV、CDのトラックナンバー(曲番)表示



CDV、CDまたはデジタルサウンド付LD再生時に点灯します。

REPEAT S	シングルリピート再生を行なうとき点灯します。
REPEAT F	フルリピート再生を行なうとき点灯します。
REPEAT A↔B	A-B(2点間)リピート再生を行なうとき点灯します。
PROG	プログラム再生を行なうとき点灯します。
PROG REPEAT S(F)	プログラムリピート再生を行なうとき点灯します。

● リモートコントロールユニット (RS-202)



① トレイ開閉キー

ディスクトレイを開閉するキーです。

ディスクトレイを閉めると自動的に再生がスタートします。

LD : ディスクの頭から自動的に再生します。

CDV : ビデオパートから自動的に再生します。

CD : トラック1から自動的に再生します。

②チャプター／トラックキー **LD, CDV, CD**

チャプター／トラックの頭出しをするキーです。

押し続けると連続的に頭出しを行います。(スキップ機能について→ページ27)

*プログラム再生中は次のプログラムに進めたり、前のプログラムに戻したりすることができます。

③ポーズ／ストップキー **LD, CDV, CD**

一度押しますとポーズ(一時停止)、もう一度押しますとストップ(停止)します。

ディスクトレイが開いているときに一度押しますと、トレイは自動的に閉まり、最初に再生するチャプター／トラックの頭でポーズ状態となります。

④プレイキー **LD, CDV, CD**

再生をスタートさせるキーです。

ディスクトレイが開いているときに押しますと、トレイは自動的に閉まり、再生がスタートします。

⑤早送りキー **LD, CDV, CD**

再生させたいところを探すキーです。

押し始めの3秒間は低速で、その後は高速で早送りまたは早戻しします。

▷: 再生中に早送りするキーです。

◁◁: 再生中に早戻しするキーです。

* **LD** および **CDV** のビデオパート再生中に早送り・早戻しをしますと音声は消えます。

* **CD** 再生中およびポーズ中に早送り・早戻しをしますと再生音が小さな音で聴こえます。

(早送り・早戻しについて→ページ22)

⑥マルチスピードプレイキー

LD : ▷ : CAV/標準ディスクの再生中、スピード調整キーで選択した速さで正方向に進みます。

◁ : CAV/標準ディスクの再生中、スピード調整キーで選択した速さで逆方向に進みます。

* マルチスピード再生時、音声は消えます。

* CLV/長時間ディスクではマルチスピード再生はできません。

CDV : このキーは機能しません。

CD : このキーは機能しません。

⑦スピード調整キー

LD : CAV/標準ディスクでマルチスピード再生(→ページ39)をするときに、再生スピード(10段階)を選択するキーです。+キーを押しますと再生スピードが早くなり、-キーを押しますと、遅くなります。

* マルチスピード再生中は音が出ません。

画面表示	* 12	* 3
速度	12倍速	3倍速

CDV : このキーは機能しません。

CD : このキーは機能しません。

⑧静止画・コマ送りキー

LD : ▷ : CAV/標準ディスクを再生中に、正方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。

◁ : CAV/標準ディスクを再生中に、逆方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。(静止画/コマ送り再生→ページ40)

* 押し続けた場合は0.3秒ごとにコマ送り再生が行われます。

* 静止画/コマ送り再生中、音声は消えます。

CDV : このキーは機能しません。

CD : このキーは機能しません。

⑨D/A・CX NRキー

LD : **Digital Sound** マーク付きディスクの再生時にこのキーを押しますと、音声がデジタル音声からアナログ音声に切り換わります。また、CX NRをマニュアルでONにするアナログ音声ディスクの再生時にこのキーを押しますと、CX NRがONになります。(D/A切換、CX NRについて→ページ26)

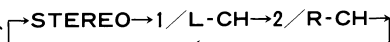
CDV : このキーは機能しません。

CD : このキーは機能しません。

リモコンユニットの名称とはたらき

⑩音声切換キー **LD, CDV, CD**

音声をステレオ信号、L、R両チャンネルともL信号、あるいは両チャンネルともR信号に設定するキーです。

キーを押すごとに、の順に切り換わります。

*電源を入れたときには“STEREO”に設定されています。

(音声切換について→ページ25)

⑪リピートキー **LD, CDV, CD**

シングルリピート、フルリピート、プログラムリピートを行うときに、その指定や解除をするキーです。

キーを押すごとに、の順に切り換わります。(リピート再生→ページ36)

⑫A-Bキー **LD, CDV, CD**

A-Bリピート(任意に指定した2点間のリピート)をするときに使います。

(A-Bリピート→ページ37)

⑬VHF切換キー **LD, CDV, CD**

RF接続(→ページ9)をしているときに、本機の再生とテレビ放送の受信を切り換えるキーです。(テレビ放送を見るには→ページ42)

⑭表示切換キー

LD : CAV/標準ディスクを再生中にこのキーを押しますと、画面にチャプターナンバーとフレームナンバーが表示されます。

CLV/長時間ディスクを再生中にはチャプターナンバーとタイムナンバーが表示されます。

*ディスクによっては、チャプターナンバーの表示されないものがあります。

CDV : ビデオパート再生中またはポーズ中にこのキーを押しますと、トラックナンバー、インデックスナンバーおよびトラックタイムが画面に表示されます。

オーディオパート再生中またはポーズ中は、キーを押すごとにテレビ

の画面、マルチディスプレイの表示はTIME(トラックタイム:再生中のトラックごとの経過時間)→TOTAL TIME(トータルタイム:トラック1からの再生総経過時間)→REMAIN TIME(リメインタイム:再生残り時間)の順に切り換わります。

CD : 再生中またはポーズ中は、キーを押すごとにテレビの画面、マルチディスプレイの表示はTIME(トラックタイム:再生中のトラックごとの経過時間)→TOTAL TIME(トータルタイム:トラック1からの再生総経過時間)→REMAIN TIME(リメインタイム:再生残り時間)の順に切り換わります。(表示切換について→ページ24)

⑮プログラム・メモリーキー **LD, CDV, CD**

再生したいチャプター/トラックを任意の順番で再生(プログラム再生)するとき、そのセットや確認を行うキーです。(プログラム再生→ページ33)

また、メモリー再生をするときにも使います。(メモリー再生→ページ35)

⑯フレーム・タイム/インデックスキー

LD : CAV/標準ディスクの再生時にフレームナンバーサーチを行うとき、またCLV/長時間ディスクの再生時にタイムナンバーサーチを行うときに押します。(フレームナンバーサーチ→ページ30、タイムナンバーサーチ→ページ30)

CDV : タイムサーチ(→ページ31)やインデックスサーチ(→ページ41)を行うときに押します。

CD : タイムサーチ(→ページ31)やインデックスサーチ(→ページ41)を行うときに押します。

⑰テンキー(1~0数字キー)

LD : チャプターナンバー、フレームナンバー、タイムナンバーを指定するキーです。

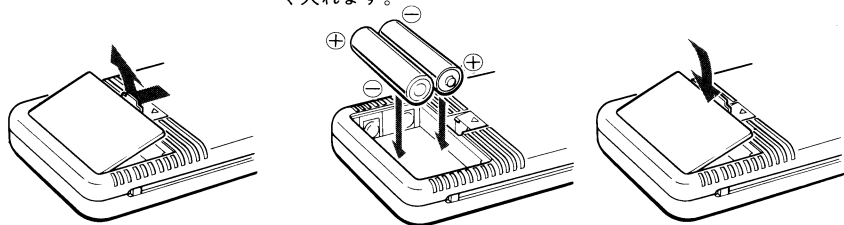
CDV : トラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイム、トータルタイムを指定するキーです。

CD : トラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイム、トータルタイムを指定するキーです。

リモコンユニットを使う前に

●電池の入れかた

- ①リモコンユニット裏側のふたをはずします。
- ②付属の電池SUM-3型(単3) 2本を、 \oplus \ominus の向きをケース内の表示に合わせて正しく入れます。
- ③電池交換がすんだらカチッと音がするまでしめます。



●電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池は使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

電池交換のときは

- プラス(\oplus)とマイナス(\ominus)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

万一の事故を防ぐために

- 分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。

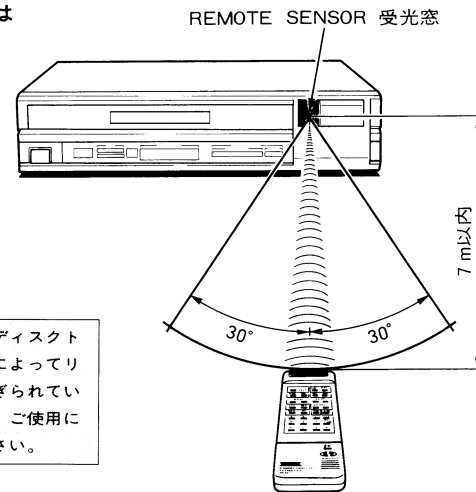
- \oplus と \ominus を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコンについてのご注意

リモコンの使用範囲は



図の範囲内であっても、ディスクトレイが開いていて、それによってリモコンからの信号がさえぎられていると、動作しませんので、ご使用になる角度に注意してください。

リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、本機の電源が入っているかどうかもお確かめください。

付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

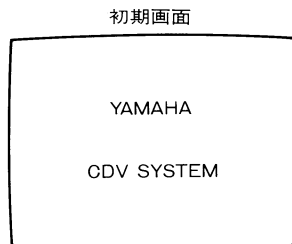
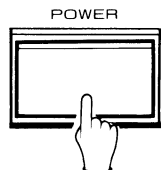
強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

再生のしかた 基本操作

LD CDV CD

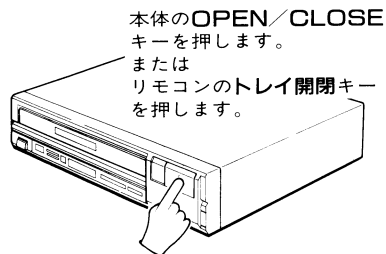
1 本機および接続した各機器の電源を入れます。

* LD、CDVを再生するときは接続したテレビのチャンネルを本機の再生が受信できるようにセットしてください。

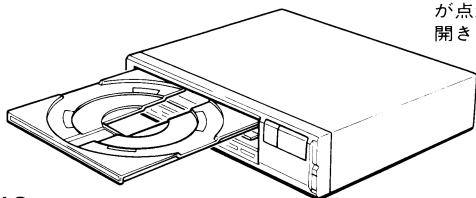
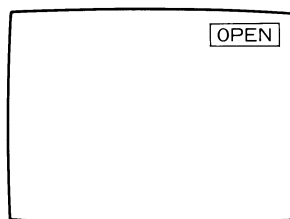


2 ディスクトレイを開けます。

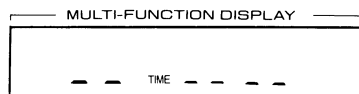
本体のOPEN/CLOSEキー、またはリモコンのトレイ開閉キーを押します。DISCインジケータが点滅、トレイが開きます。



本体のOPEN/CLOSEキーを押します。またはリモコンのトレイ開閉キーを押します。



DISCインジケータが点滅してトレイが開きます。

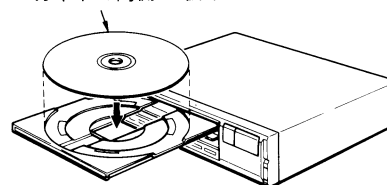


3 ディスクをセットします。

LD : 再生したいレーベル面を上にしてセットしてください。

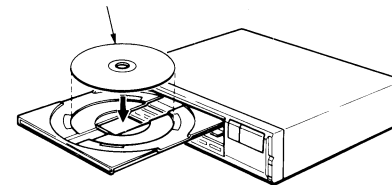
●30cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして30cmのガイドの内側に確実にセットします。



●20cmディスクの場合

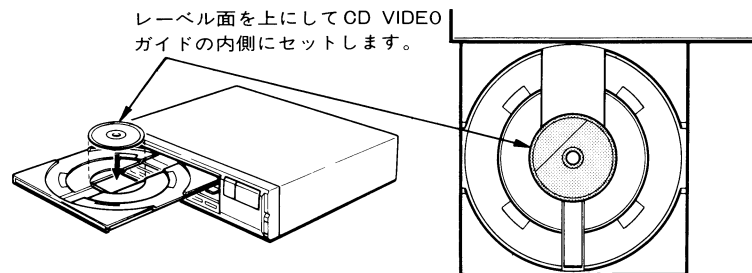
見たいレーベル面を上にして20cmのガイドの内側に確実にセットします。



●片面ディスクで裏面が不透明なアクリル樹脂製のものを再生する場合、レーベル面(アクリル樹脂側)を上向きに、キラキラ光る側の面を下向きにセットしてください。逆向きにセットすると故障の原因となります。

CDV, CD : CDVおよびCDの信号は片面だけに記録されています。レーベル面を上にしてセットしてください。

レーベル面を上にしてCD VIDEOガイドの内側にセットします。



ディスクトレイのガイドにディスクのふちを合わせて確実にセットします。誤ってずれたままトレイを閉めた場合には、速やかにトレイを開き、セットし直してください。ずれたまま動作させますとディスクを傷つけるだけでなく、本体の故障の原因となる場合があります。

4 ディスクトレイを開けると再生が始まります。

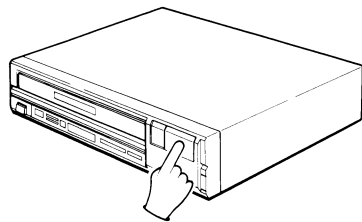
本体のOPEN/CLOSEキー、またはリモコンのトレイ開閉キーを押します。

* ディスクトレイは手で軽く押しでも閉めることができます。

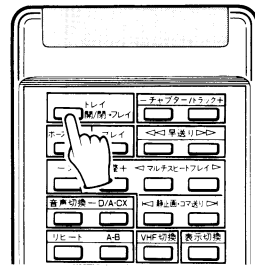
LD : ディスクの頭から自動的に再生がスタートします。

CDV : ビデオパートから自動的に再生がスタートします。

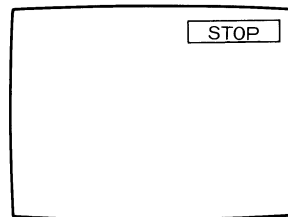
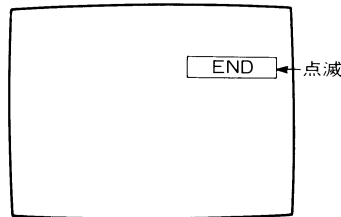
CD : トラック1 (1曲目) から自動的に再生がスタートします。



または



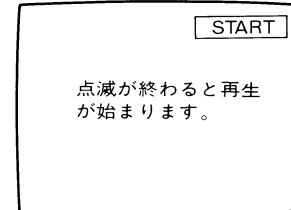
5 再生が終了しますとストップ状態になります。



CDV : ビデオパートの再生が終了しますと、自動的にオーディオパートのトラック1の再生(演奏)に移り、オーディオパートの再生(演奏)が終了しますとストップします。

■表示について

LD

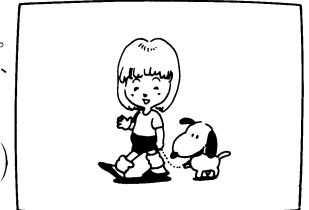


ディスクの情報が画面表示されます。(CAV、CLV、SIDE-A、など)



(再生が始まるまで多少時間がかかります。)

再生

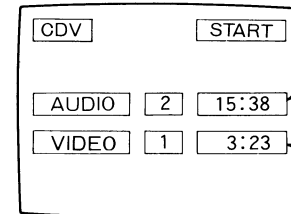


CDV **CD**

オーディオパートの総曲数、総演奏時間、ビデオパートの総曲数、総演奏時間が表示されます。(CD再生時はビデオパート表示は空欄です)

例) オーディオパート2曲、総再生時間15分38秒

ビデオパート1曲、再生時間3分23秒のディスクをセットしますと



ビデオパート再生時



オーディオパート

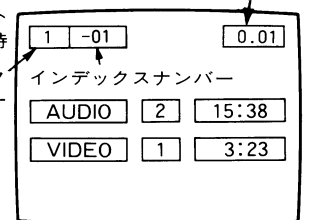
ビデオパート

トラックタイム



オーディオパート再生時

トラックナンバー



CD再生時にも画面にはCDの総曲数、総演奏時間、演奏状態が表示されます。

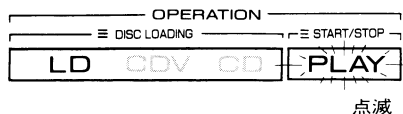
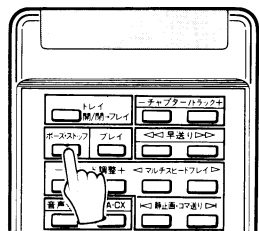
CDVは自動的にビデオパートから再生がスタートしますので、再生開始時はビデオパートのトラックナンバーを表示します。

再生のしかた

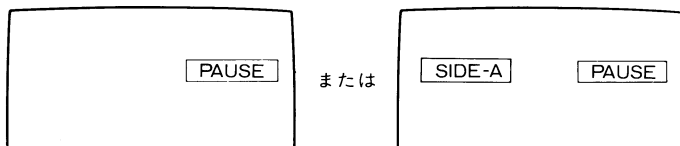
■再生を一時止めるには……ポーズ **LD CDV CD**

リモコンのポーズ・ストップキーを一回押します。

ポーズ中は“PLAY”インジケータが点滅します。



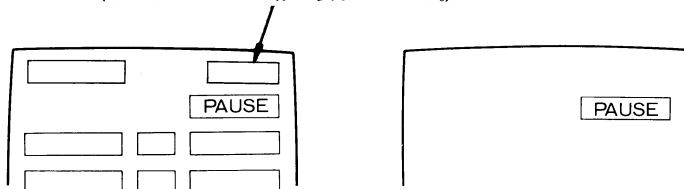
LD



ポーズ状態になります。

CDV, CD

(トラックタイムが赤で表示されます。)



オーディオパート再生中

ビデオパート再生中

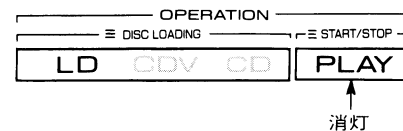
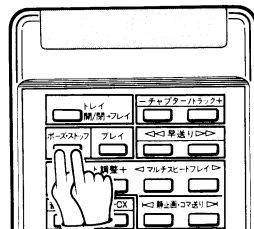
- * ディスクは回転を続けています。再生を再開する場合は**プレイ**キーを押します。
- * ポーズ中にもう一度**ポーズ・ストップ**キーを押しますと、ストップ状態になります。

■再生を止めるには……ストップ **LD CDV CD**

リモコンのポーズ・ストップキーを2回押します。

ストップ(停止)状態になり、ディスクの回転は停止します。

プレイキーを押しますと再生がスタートします。



LD

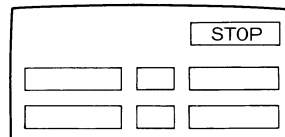


ストップ状態になります。

ピクチャーストップ動作について

CAVディスクのなかには、ピクチャーストップコードという特別の信号が記録されたものがあります。こうしたディスクはピクチャーストップコードで指定されているフレーム(画像)まで再生すると、自動的に静止画再生となります。そのときは、**プレイ**キーを押しますと、標準再生を続けることができます。(詳しくは、ディスクのジャケットの説明をご覧ください。)

CDV, CD

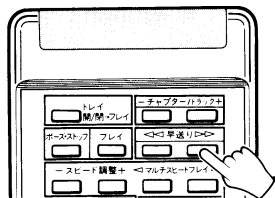


■早送り・早戻しについて

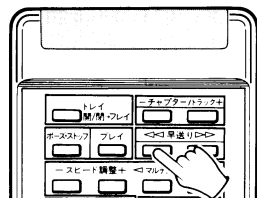
早送りキーを使いますと、再生したいところを探することができます。

▶キーを押しますと早送り、◀キーを押しますと早戻しになります。押し始めの3秒間は中速で、その後は高速で早送り再生となります。

●早送り



●早戻し



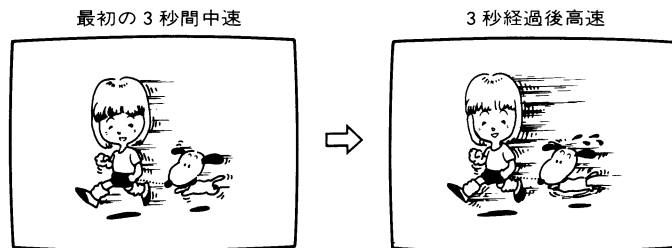
* ストップ状態のときは早送り・早戻しはできません。

LD

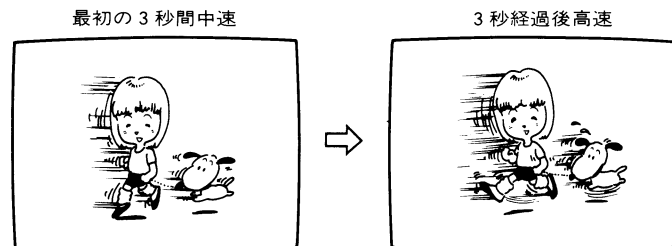
キーを押している間だけ早送り・早戻しの画像が見られますが、そのとき音声は消えます。

* CLV/長時間ディスクでは画像が乱れることがあります。

●早送り



●早戻し



CDV

●ビデオパートを再生中は

キーを押し続け、再生したいところになりましたらキーから指を離します。その位置から再生がスタートします。

* ビデオパートを再生中に早送りまたは早戻しを行いますと音声は消えます。また画像が乱れることがあります。

●オーディオパートを再生中またはポーズ中の場合は

早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聴こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズ状態になります。

CD

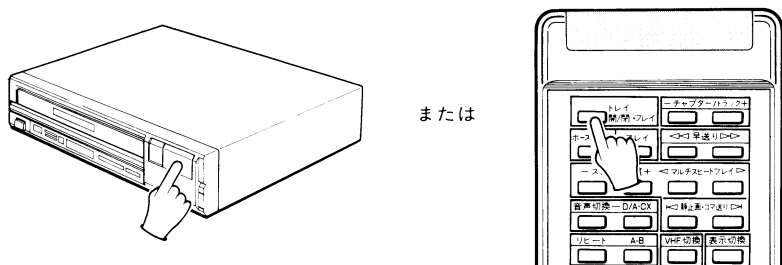
早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聴こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生またはポーズ状態になります。

再生のしかた

■ディスクの取り出ししかた **LD CDV CD**

本体のOPEN/CLOSEキーまたはリモコンのトレイ開閉キーを押します。
ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。



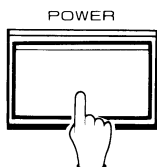
ディスクトレイが開いたらディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

ご注意

- 再生中は本機を動かさないでください。
再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりしますとディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動などするときは必ず再生を止め、ディスクを取り出してから行ってください。
- ディスクトレイに不要物を入れないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを避けるためにディスクトレイは閉めておいてください。
- 一度にセットできるディスクは1枚です。LDとCDVやCDを重ねてセットしますと、ディスクを傷付けたり、本機の故障の原因ともなりますので絶対におやめください。またディスクトレイにはディスク以外のものをセットしないでください。
- 引き出したままのディスクトレイに強い力（特に上下方向）を加えますと本機の故障の原因となります。また本機が落下する危険もあります。

■再生を終えるときは **LD CDV CD**

ディスクトレイ内にディスクが無いことを確認してからディスクトレイを閉め、本体のPOWERスイッチを押して電源を切ります。

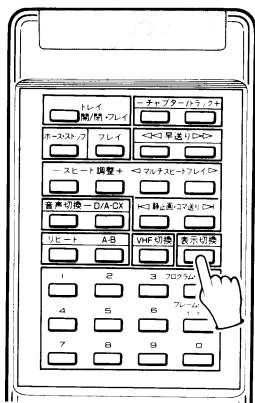


表示切換について

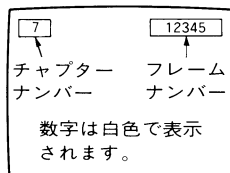
再生中に**表示切換**キーを押しますと、マルチファンクションディスプレイおよび画面の表示を切り換えることができます。

LD

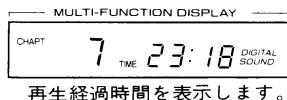
表示切換キーを押しますと、チャプターナンバー、フレームナンバーまたはタイムナンバー(時間)を表示させることができます。



CAV/標準ディスクの場合、チャプターとフレームナンバーが表示されます。

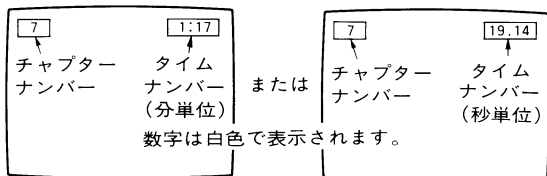


数字は白色で表示されます。



再生経過時間を表示します。

CLV/長時間ディスクの場合、チャプターとタイムナンバーが表示されます。



数字は白色で表示されます。

メモ

ディスクには映像・音声と同時に、チャプターナンバー、フレーム(タイム)ナンバーが記録されています。

チャプターナンバー(CAV/標準ディスク・CLV/長時間ディスク)

ディスクプログラムの区切りを示します。書物における「章」番号に相当します。
※ディスクのなかにはチャプターナンバーの記録されていないものもあります。

フレームナンバー(CAV/標準ディスク)

ディスクプログラムのはじめから、1つ1つの画面に連続して付けられている番号です。書物における「ページ」に相当します。

タイムナンバー(CLV/長時間ディスク)

ディスクのはじめからプレイモードで再生した場合の経過時間の表示です。ディスクによって分単位のもの秒単位のものがあります。

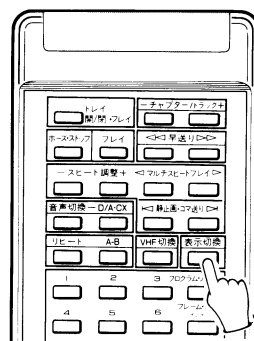
*CAV/標準ディスクでもマルチファンクションディスプレイにタイムナンバーが表示されますが、一部のディスクでは実際の再生時間と表示時間が、若干ずれる場合があります。

CDV

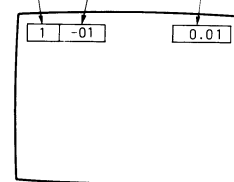
再生中に**表示切換**キーを押しますと、マルチディスプレイおよび画面の表示をトラックタイム、トータルタイム、リメイナタイムの順に切り換えることができます。

「ビデオパート再生時」

表示切換キーを押しますと、画面にトラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイムを表示させることができます。もう一度押しますと表示が消えます。



トラックインデックストラック
ナンバーナンバータイム

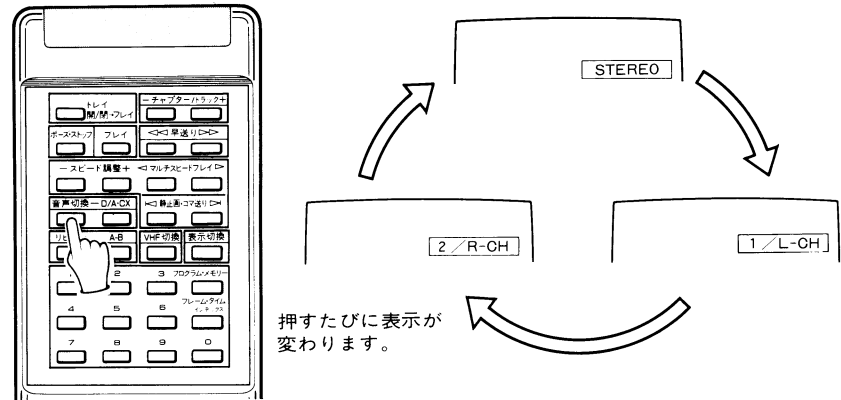


音声切換について

LD CDV CD

本機は電源を入れたときはSTEREOモードに設定されていますが、音声切換キーを押すごとに→STEREO→1/L-CH→2/R-CH→の順に切り換わります。

バイリンガルなどの音声多重ディスクを再生するときなど、必要に応じて切り換えてください。



「音声切換キーによる音声の再生」

画面表示	VHF OUT端子	AUDIO SIGNAL端子	
		L	R
STEREO	1/L、2/Rのミックス(モノラル)	1/L	2/R
1/L-CH	1/L		
2/R-CH	2/R		

* ディスクトレイを開閉しますと選択したモードはキャンセルされ、自動的にSTEREOモードに戻ります。

* LDのデジタル音声、アナログ音声の切り換えについてはページ26をご参照ください。

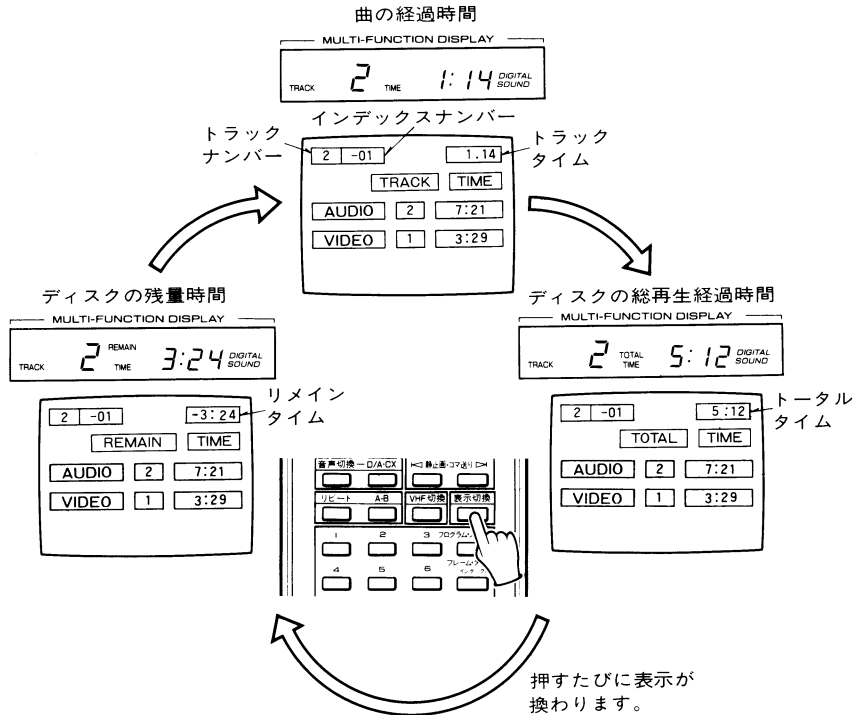
「オーディオパート再生時」

表示切換キーを押すごとにマルチディスプレイおよび画面は切り換わります。

TIME : トラックごとの再生経過時間(トラックタイム)

TOTAL TIME : オーディオパートの頭からの総再生経過時間(トータルタイム)

REMAIN TIME : オーディオパートの再生残り時間(リメインタイム)



CD

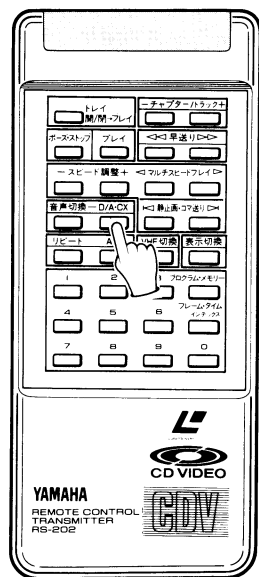
表示切換キーを押しますとCDVのオーディオパート再生時と同様にマルチディスプレイおよび画面の表示が変わります。

D/A切換、CX NRについて **LD**

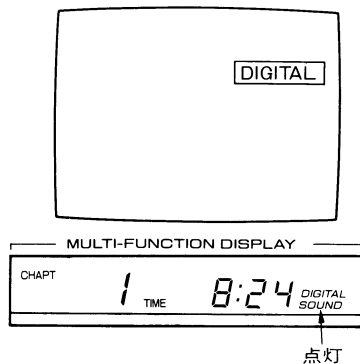
■D/A切換について

LDのなかには、音声デジタル音声とアナログ音声の両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。(ディスクのジャケットの記載をご参照ください。)

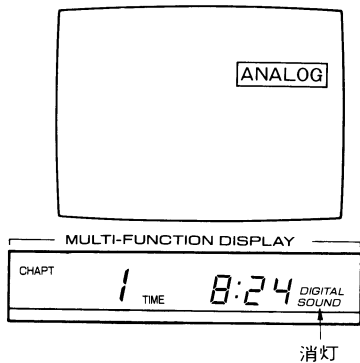
そのようなディスクを再生するときは、**D/A・CX NR**キーで音声を選択してください。デジタル音声を再生しますと画面に“DIGITAL”が、アナログ音声を選択しますと、“ANALOG”が表示されます。





デジタル音声選択時



アナログ音声選択時

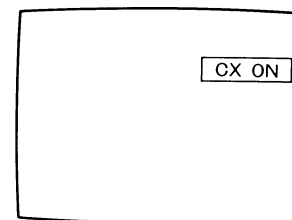
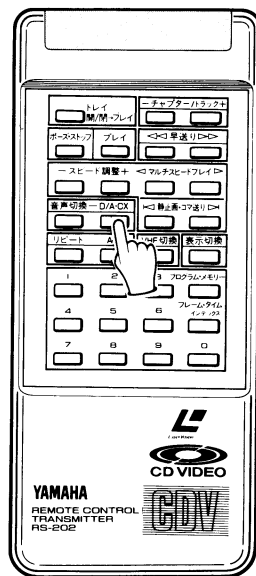


■CX NRについて

LDのなかには  マークの記載されたものがあります。このマークはCX NR(ノイズリダクション)を使って音声記録されていることを示しています。CX NRはS/N比を向上させ、ダイナミックレンジを拡大しますので雑音の少ない迫力ある再生音を生み出します。(CX NRディスクはジャケットに  マークが記載されています。ご確認ください。)

本機はCX NRディスクを再生しますとそれを検出し、自動的にCX NRシステムが作動します。(D/A・CX NRキーを押しますと、CX NRディスクを再生中はCX ONが、CX NRの使われていないディスクではCX OFFが表示されますので、確認することができます。)

またディスクのなかにはCX NRを自動検出できないものがあります。そのようなディスクを再生する場合は、D/A・CX NRキーを押して、本機のCX NRシステムをONにしてください。



※  はOBSの登録商標です。

スキップ機能について

LD

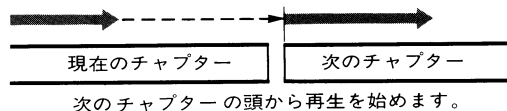
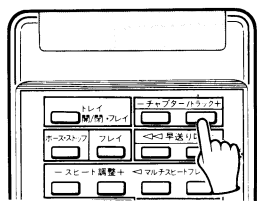
頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。

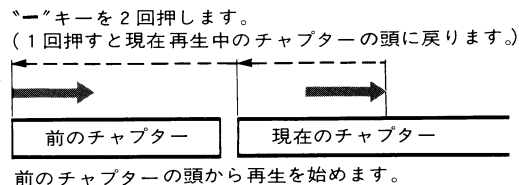
■チャプタースキップ

次のチャプターの頭まで飛んで(スキップ)頭出ししたり、現在再生中のチャプターの頭に戻って再生を始めることができます。

- 次のチャプターの頭にスキップするときは、「+」キーを押します。
繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。
ディスクに記録されているチャプターナンバー以上にスキップしますと「END」表示後ストップ状態になります。



- 再生中のチャプターの頭に戻って再生する場合は「-」キーを押します。
一回押しますと、そのチャプターの頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のチャプターの頭に戻ります。



「-」キーを2回押します。
(1回押すと現在再生中のチャプターの頭に戻ります。)

- *繰り返して押しますと、前の前のチャプターへスキップすることができます。
- *プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のチャプターにスキップします。
- *チャプターの記録されていないディスクではチャプタースキップできません。

CDV CD

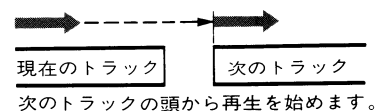
頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- ビデオパートを再生中に頭出し操作を行いますと、映像と音声は消えます。

■トラックスキップ

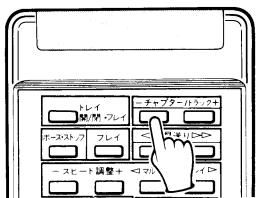
次のトラックの頭まで飛んで(スキップ)頭出ししたり、現在再生中のトラックの頭に戻って再生を始めることができます。

- 次のトラックの頭にスキップするときは、「+」キーを押します。
繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

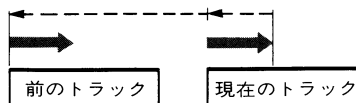


- *ディスクの最後のトラックまでスキップしますと、それ以上のトラックスキップは受け付けず、最後のトラックが再生されます。
- *ストップ状態でもトラックスキップをすることができます。プレイキーを押しますと、指定されたトラックから再生が始まります。

- 再生中のトラックの頭に戻って再生する場合は、“**←**”キーを押します。
一回押しますと、その曲の頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のトラックの頭に戻ります。



“←”キーを2回押します。
(1回押すと現在再生中のトラックの頭に戻ります。)



前のトラックの頭から再生を始めます。

- *繰り返して押しますと、押すごとに前のトラックへスキップすることができます。ディスクの頭までスキップしますと、それ以上は受け付けず最初のトラックの再生が始まります。
- *プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のトラックにスキップします。

サーチ機能について

LD

頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

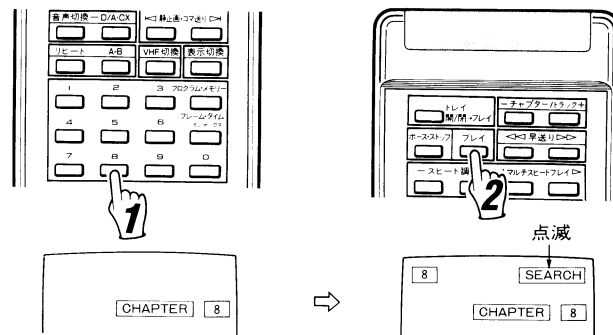
- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。

■チャプターサーチ

- 1 テン(1~0)キーを使って頭出しするチャプターの番号を押します。
- 2 プレイキーを押します。

選択されたチャプターの頭から再生がスタートします。

(例) チャプター8をサーチするには



- *プレイキーのかわりにポーズ・ストップキーを1回押しますと、指定したチャプターの頭でポーズ状態となります。
- *CAV/標準ディスクの場合、プレイキーのかわりに**静止画・コマ送り**キー、または**マルチスピードプレイ**キーを押しますと、サーチ後はそのモードになります。
- *ディスクに記録されているチャプターナンバー以上の数を指定しますと、サーチ後に“END”を表示、ストップ状態になります。

サーチ機能について

CDV

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- ビデオパートを再生中に頭出し操作を行いますと、映像と音声は消えます。

■トラックサーチ

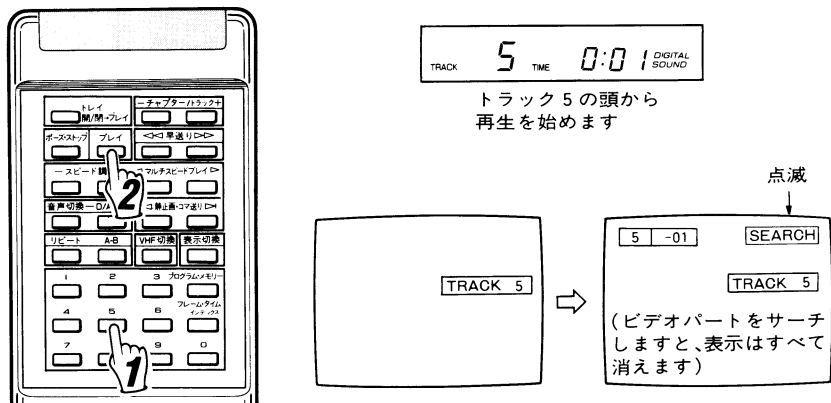
1 テン(1~0)キーを使って頭出しするトラックの番号を押します。

2 プレイキーを押します。

選択されたトラックの頭から再生がスタートします。

- * ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後は“VIDEO END”を表示し、オーディオパートの再生に移ります。

(例) トラック5を再生するには



- * プレイキーのかわりにポーズ/ストップキーを1回押すと、指定したトラックの頭でポーズ状態になります。

CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- トラックサーチの方法はCDVと同様です。CDVの項をご参照ください。
- * ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後はストップ状態になります。

フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ **LD** 画面単位で呼び出すには

LDではフレームナンバーまたはタイムナンバーを利用して目的の映像を呼び出すことができます。

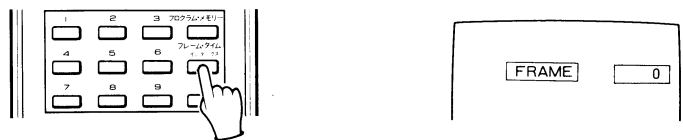
■フレームナンバーサーチ **LD(CAV/標準ディスク)**

フレームナンバーを指定すれば、その画面から再生を行なうことができます。

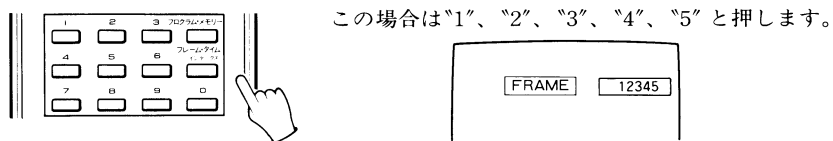
* ディスクトレイの開閉動作中は、フレームナンバーサーチはできません。

例)…12345番のフレームの映像をサーチするには

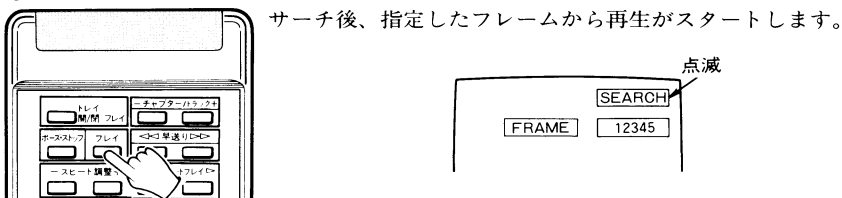
1 フレーム・タイムキーを押します。



2 テン(1~0)キーでフレームナンバーを指定します。



3 プレイキーを押します。



● フレームサーチ後、静止画再生にしたい場合は、プレイキーを押すかわりに**静止画・コマ送りキー**(KまたはD)を押します。

* CAV/標準ディスクを再生してもマルチディスプレイには時間が表示されますが、タイムナンバーサーチはできません。

* フレームナンバーサーチを解除するときは、もう一度**フレーム・タイム**キーを押します。

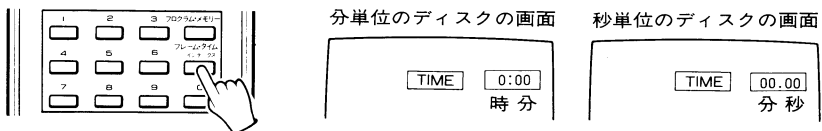
■タイムナンバーサーチ **LD(CLV/長時間ディスク)**

ディスクの任意の時間を指定し、そこから再生を行うことができます。ディスクによっては時間表示が「分」単位のもの、「秒」単位のものがあります。「分」単位のディスクでは一分間隔のタイムサーチとなり、秒単位のディスクでは一秒間隔のタイムサーチとなります。

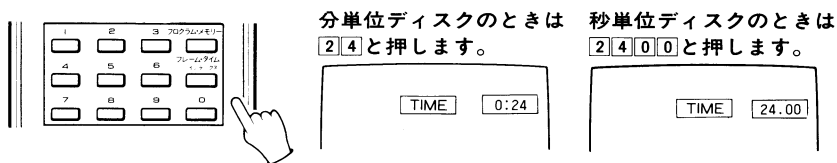
* ディスクトレイの開閉動作中はタイムナンバーサーチはできません。

例)…ディスクの頭から24分の画面をサーチするには

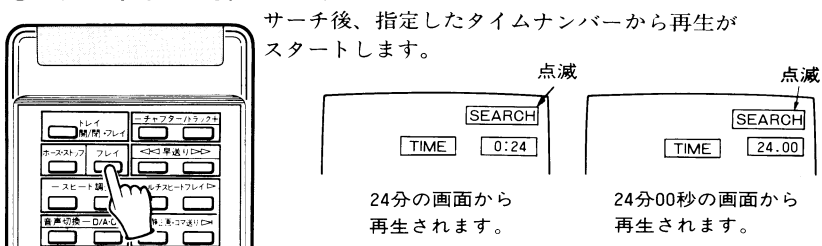
1 フレーム・タイムキーを押します。



2 テン(1~0)キーでタイムナンバーを指定します。



3 プレイキーを押します。



* タイムナンバーサーチを解除するときは、もう一度**フレーム・タイム**キーを押します。

タイムサーチ **CDV, CD** 時間単位で頭出しするには

ディスクの任意の時間を指定し、その位置から再生をスタートさせることができます。タイムサーチには、トラック(曲)ごとの経過時間を指定するトラックタイムサーチとディスクの頭からの再生経過時間を指定するトータルタイムサーチの2種類の方法があります。

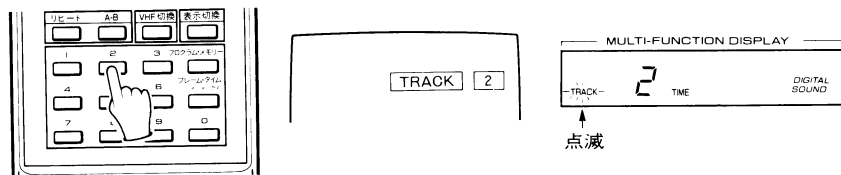
CDV CD

■トラックタイムサーチ

例) トラック2の3分45秒から再生するには

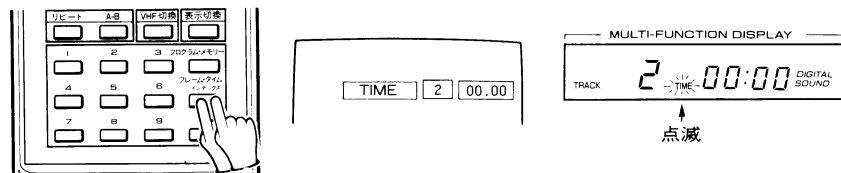
1 テン(1~0)キーでトラックを選びます。

この場合は"2"です。



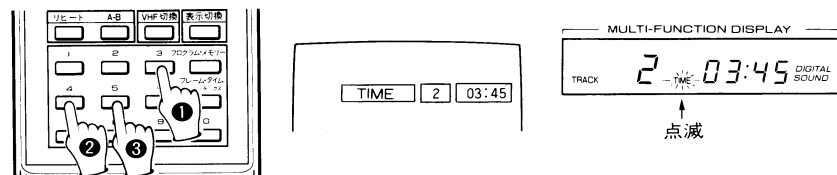
2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

"TIME"が点滅することを確認してください。



3 テンキーでトラックタイムを指定します。

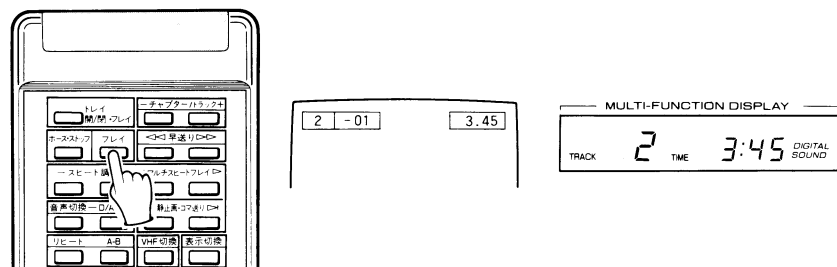
この場合は"3"、"4"、"5"と押します。



4 プレイキーを押します。

トラック2の3分45秒から再生がスタートします。

- このときプレイキーのかわりにポーズ・ストップキーを押しますと、3分45秒の位置でポーズ状態になります。



- * 指定中にトラックタイムサーチを解除するときは、もう一度フレーム・タイムキーを押してください。
- * ディスクに指定したトラックが無い場合には最後のトラックが再生されます。
- * 指定したトラックタイムが、そのトラックに無い場合は次のトラックの頭から再生されます。
- * オーディオパートの最後のトラックに同様の指定をしますと、ストップ状態になります。

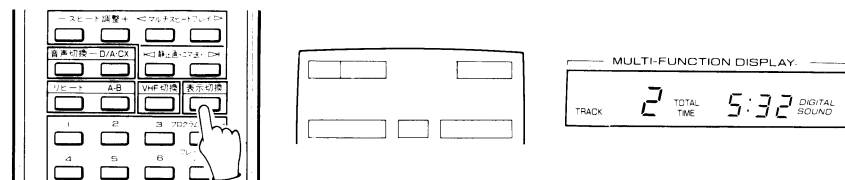
CDV(オーディオパート再生時) CD

■トータルタイムサーチ

例) ディスクの頭から4分30秒の位置から再生するには

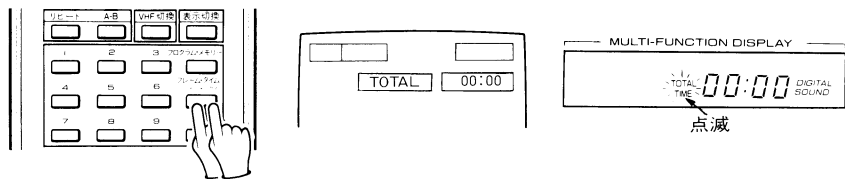
1 表示切換キーを押し、TOTAL TIME表示にします。

* CDVのビデオパートを再生中はトータルタイムサーチはできません。



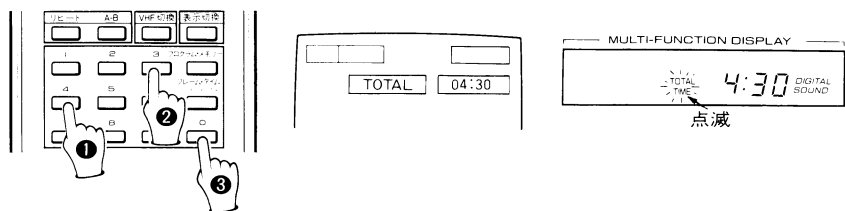
2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

"TIME"が点滅していることを確認してください。



3 テンキーでトータルタイムを指定します。

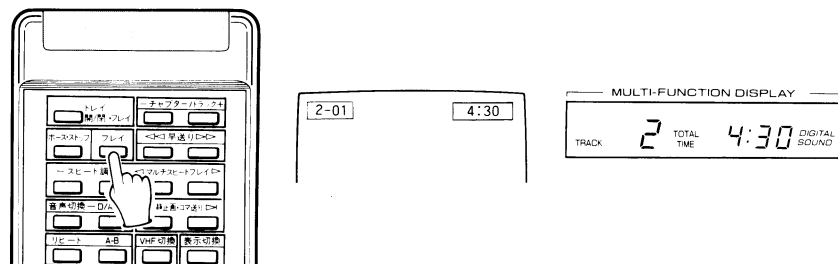
この場合は"4"、"3"、"0"と押します。



4 プレイキーを押します。

4分30秒の位置から再生がスタートします。

- このときプレイキーのかわりにポーズ・ストップキーを押しますと、4分30秒の位置でポーズ状態となります。



- * CDVのトータルタイムサーチは、オーディオパート再生中のみ可能です。
- * ディスクの頭からビデオパートにまたがるトータルタイムサーチはできません。
- * オーディオパートの総再生時間をオーバーした時間を指定しますと、オーディオパートの最後でストップ状態となります。

プログラム再生

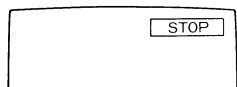
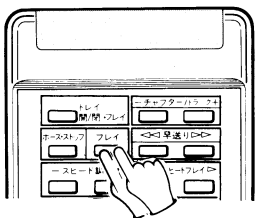
LD

最大15までのチャプターを選択し、順番を並び換えて再生することができます。プログラムのセット状況はマルチファンクションディスプレイにも表示されます。CDV、CDのプログラム再生の項もご参照ください。

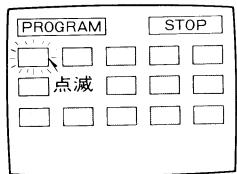
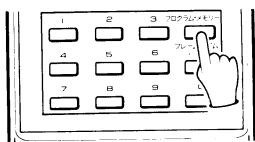
*チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生することはできません。

例) チャプター 3、チャプター 5の順番でプログラム再生するには

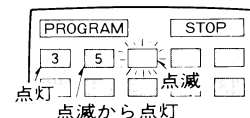
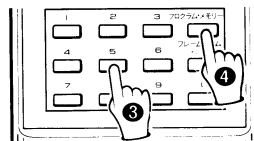
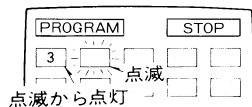
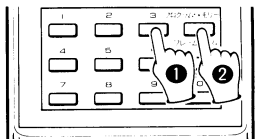
1 ポーズ・ストップキーを2回押してストップ状態にします。



2 プログラム・メモリーキーを押します。

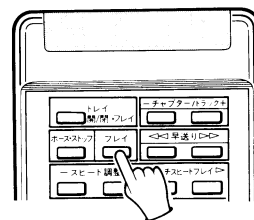


3 テン(1~0)キーでチャプターを選び、プログラム・メモリーキーで見たチャプターを1曲ずつメモリーします。



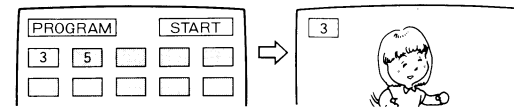
これで、チャプター 3、5の順にプログラム再生がセットされました。(同様の方法でプログラム15までメモリーすることができます。)

4 プレイキーを押します。



プログラム再生がスタートします。

*再生中のトラックナンバーが反転します。



■プログラムの変更と取り消し

1. 停止状態でプログラム・メモリーキーを押しますと、画面にプログラム内容が表示されます。さらにプログラム・メモリーキーまたはチャプター・トラックキーを押して変更したいチャプターナンバーを点減させます。

*フレーム・タイム／インテックスキーを押しますとメモリーされていたプログラムはすべてクリアされます。

2. 新しいチャプターナンバーをテン(1~0)キーで指定し、プログラム・メモリーキーでメモリーします。

●プログラムを消去するには

*フレーム・タイム／インテックスキーを押しプログラムのメモリーをクリアした後に再度プログラム・メモリーキーを押しますと、プログラムのセットモードは解除されます。

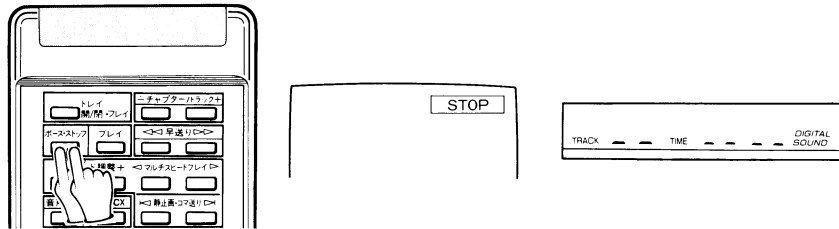
*フレーム・タイム／インテックスキーを押すかディスクトレイを開けますと、プログラムは全て消えます。また電源が切れたときも消えます。

CDV CD

ビデオパート、オーディオパートの区別なく最大15までのトラック(曲)を選択し、順番を並べ変えて再生することができます。

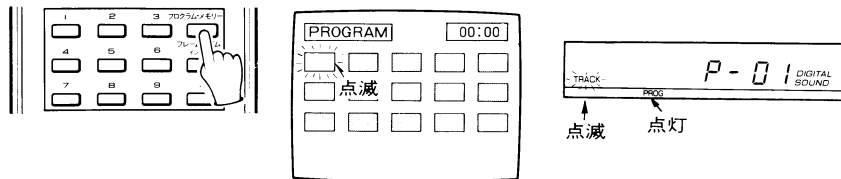
例) トラック3、トラック5の順番でプログラムをするときは

1 ポーズ・ストップキーを2回押してストップ状態にします。

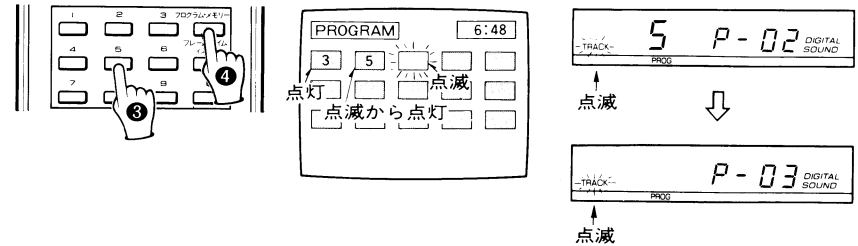
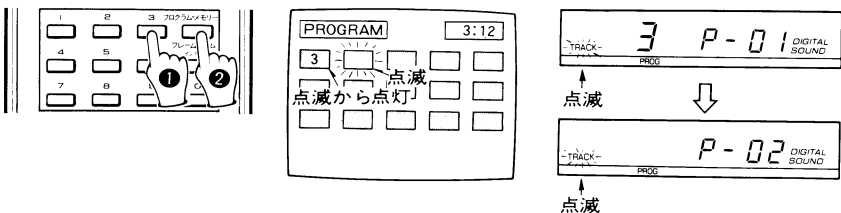


2 プログラム・メモリーキーを押します。

“PROG”が点灯します。



3 テン(1~0)キーでトラックを選び、プログラム・メモリーキーで再生したいトラックを1トラックずつメモリーします。



これでトラック3、5の順にプログラム再生がセットされました。
(同様の方法で15までのトラックをメモリーすることができます)

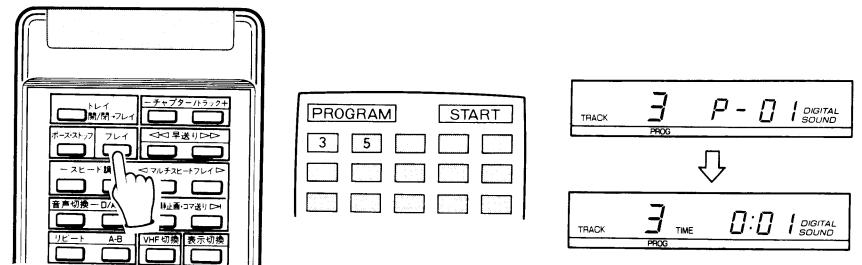
*画面にはメモリーが完了するごとにプログラムの総再生時間が表示されますが、トラックナンバーが25以上のトラックをメモリーした場合には、総再生時間は表示されません。



4 プレイキーを押します。

プログラム再生がスタートします。

*再生中のトラックナンバーが反転します。



■プログラムの変更と取り消し

●プログラムの変更、取り消し、消去のしかたはLDの操作と同様です。LDの項をご参照ください。

メモリー再生 再生したいところをメモリーできます

再生中にプログラム・メモリーキーを押しますと、その位置から再生をスタートさせることができます。

- プログラム再生中はメモリー再生はできません。

LD

1 メモリーしたい場面でプログラム・メモリーキーを押します。

“MEMORY”の文字が表示されます。(押したときのフレームナンバーまたはタイムナンバーがメモリーされます。)



2 フレーム・タイムキーを押します。

押したときのフレームナンバーまたはタイムナンバーが表示されます。

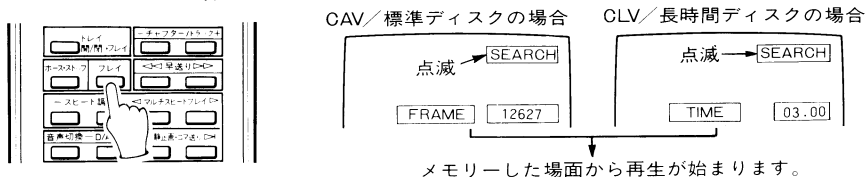


GAV/標準ディスクの場合
メモリーしたフレーム
ナンバーを表示します。

CLV/長時間ディスクの場合
メモリーしたタイム
ナンバーを表示します。

3 プレイキーを押します。

メモリーした場面をサーチして再生します。



メモリーした場面から再生が始まります。

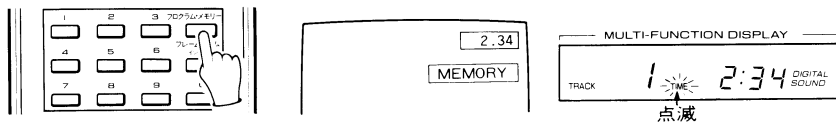
- *再生中にポーズ・ストップキーを押し停止状態にした場合は、フレーム・タイムキーを押してからプレイキーを押しますと、ストップキーを押した位置から再生をスタートすることができます。

CDV CD

1 メモリーしたい箇所でプログラム・メモリーキーを押します。

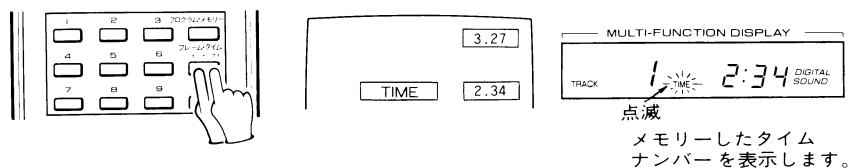
(押したときの時間がメモリーされます)

キーを押しますとマルチファンクションディスプレイの“TIME”が一度点滅します。(画面には一度“MEMORY”が表示されます。)



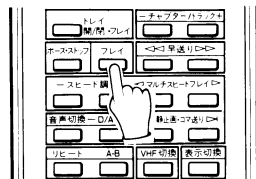
2 フレーム・タイムキーを2回続けて押します。

マルチファンクションディスプレイの“TIME”が点滅、メモリーした時間が表示されます。



3 プレイキーを押します。

メモリーした位置をサーチ後、そこから再生がスタートします。



- *メモリー再生はトラックタイム表示、トータルタイム表示のいずれの状態でも可能ですが、リマインタイム表示中はできません。またメモリーされた時間は、表示切換キーを押しますと消去されます。

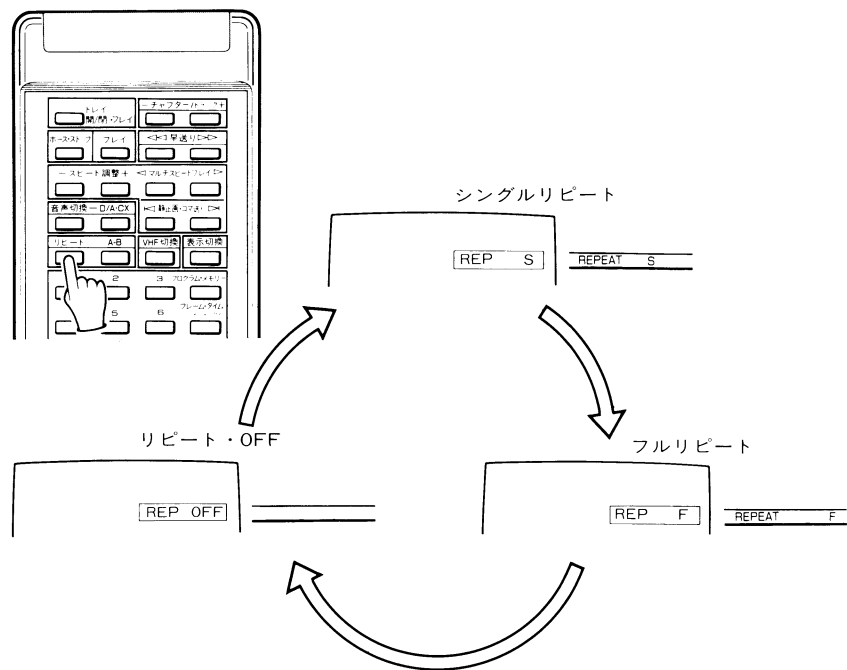
リピート再生 再生を繰り返すには

ディスクの片面または再生したい箇所だけを繰り返して再生することができます。
リピート再生には4種類あります。

- シングルリピート(REPEAT S)：1チャプター(LD)または1トラック(CDV、CD)を繰り返して再生します。
- フルリピート(REPEAT F)：ディスクの片面全部を繰り返して再生します。
- A-Bリピート(REPEAT A-B)：指定した2点間を繰り返して再生します。
- プログラムリピート：プログラムを繰り返して再生します。

●リピートモードの切り換えについて

リピートキーを押すごとにリピート機能が切り換わります。



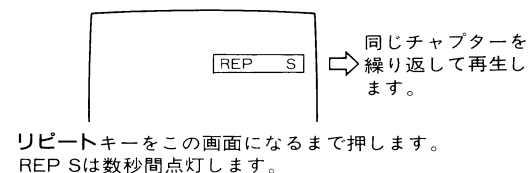
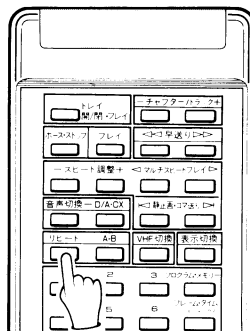
*リピートを解除する場合はリピートキーを押してREPEAT SまたはFまたはA-Bの文字をディスプレイから消してください。(画面にはREP OFFが一度表示されます)

LD

■シングルリピート(REPEAT S)

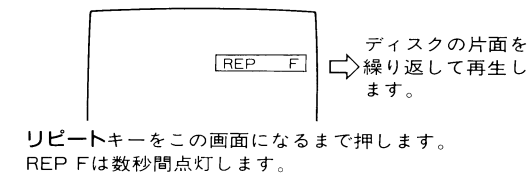
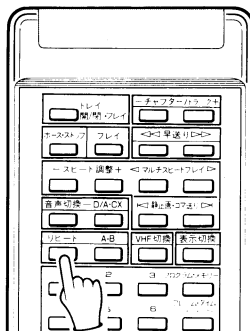
(チャプターナンバーが記録されているディスク)

現在再生しているチャプターを繰り返して再生します。



■フルリピート(REPEAT F)

ディスクの片面を繰り返して再生します。

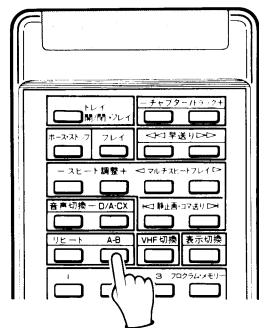


リピート再生

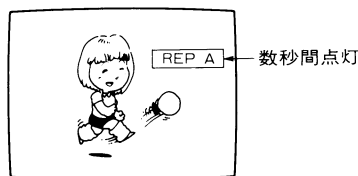
■A-Bリピート

1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。

A点が指定されます。

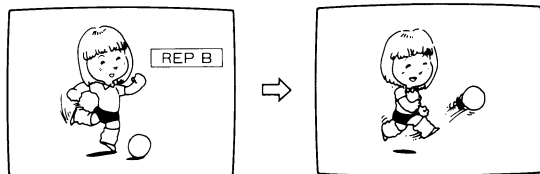
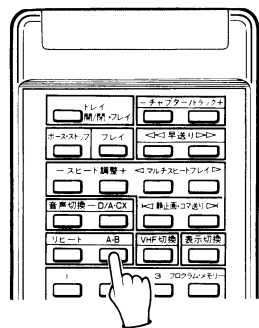


A点が指定され、下のような表示が現れます。



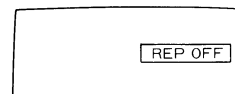
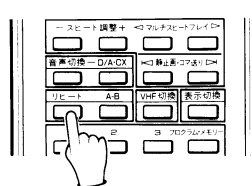
2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。

B点が指定され、下のような表示が現れた後、A-B間を繰り返し再生します。



A点から繰り返し再生します。

● A-Bリピートを解除するには
リピートキーを押すと解除されます。



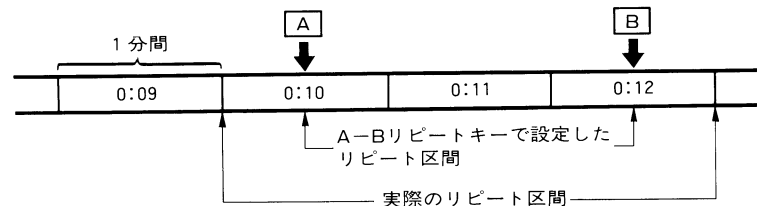
A-Bリピートが解除されると
通常の再生となります。

ご注意

CLV/長時間ディスクのリピート区間について

CLV/長時間ディスクのリピートは、ディスクに記録されたタイムによって行なわれます。ディスクは「分」を最小単位として記録されたものと「秒」単位まで記録されたものがあります。A-Bリピートを行なう場合、「秒」まで記録されたディスクでは再生時にA-Bキーを押した点(場面)と実際のリピート区間およびサーチ点(場面)はディスクプログラム上でほぼ一致しますが、分単位で記録されたディスクでは必ずしも一致しません。

例)「分」単位で記録されたディスクでのA-Bリピートは



「分」単位でタイム記録されたディスクでの最短のリピート区間は1分間です。
同一の「分」でA-Bキーを押すと1分間のリピートとなります。

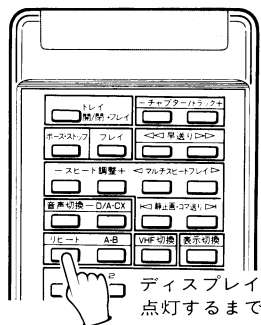
■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムのフルリピートもできます。

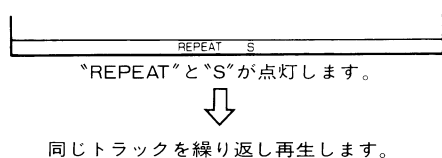
CDV CD

■シングルリピート

再生中のトラックを繰り返し再生します。
画面には“REPEAT S”が一度表示されます。

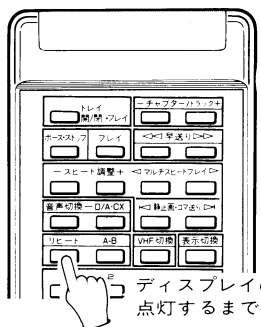


ディスプレイの“S”が点灯するまで押します。

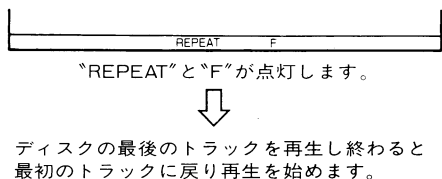


■フルリピート

ディスクの全トラックを繰り返し再生します。
画面には“REPEAT F”が一度表示されます。

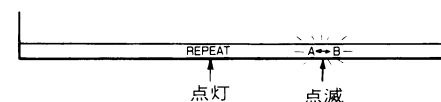
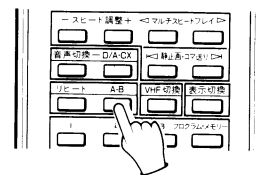


ディスプレイの“F”が点灯するまで押します。

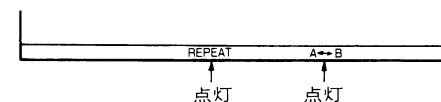
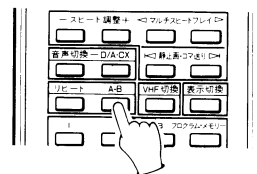


■A-Bリピート

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。
A点が指定されます。

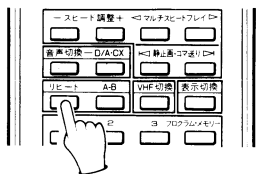


- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。
B点が指定されます。同時にA点のサーチに移り、A点から再生がスタートします。



トラックの一部やトラックをまたがったA-Bリピートはできますが、オーディオパートとビデオパートにまたがるA-Bリピートはできません。

●A-Bリピートを解除するには



リピートキーを押すと解除されます。



A-Bリピートが解除されると通常の再生となります。

■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムフルリピートを行うことができません。

マルチスピード再生 **LD** 再生スピードを変えるには

LDのCAV/標準ディスクではスピード調整キーにより、10段階の再生スピードを選ぶことができます。(マルチスピード再生)

電源を入れたときは、3倍速が設定されています。これよりも速くしたいときはスピード調整キーの+キー、遅くしたいときは-キーを押します。

速 さ	画面上の表示
ハイスピード再生	12倍速 *12
	3倍速 *3
	2倍速 *2
標準スピード	*1
スローモーション再生	1/2の速さ 1/2
	1/4の速さ 1/4
	1/8の速さ 1/8
	1/16の速さ 1/16
	1秒1コマ送り 1 SEC
3秒1コマ送り 3 SEC	

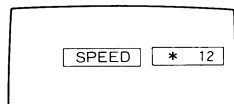
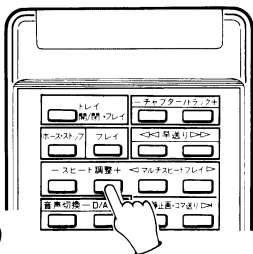
メモ

- 選んだ速さは他の再生モードに変えた場合でも記憶され続けますが、電源を切ると3倍速に戻ります。
- マルチスピード以外の再生モード時にも+、-のキーを受付け、マルチスピード再生時のスピードをあらかじめ変えておくことができます。
- マルチスピード再生中は、音声は消えます。

■ハイスピード再生 **LD(CAV/標準ディスク)**

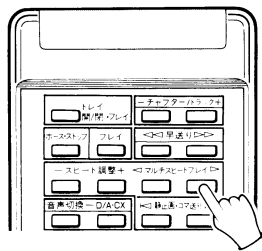
1 スピード調整キーの“+”キーを押し、スピードを設定します。

例) 12倍速で再生するには
この場合は*12を表示させます。



画面で * 12 を確認します。

2 マルチスピードプレイキーの“▷”キーを押します。 (逆転再生するときは、“◁”キーを押します。)

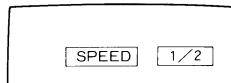
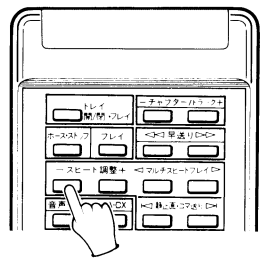


フレームナンバーが緑色に変わり、12倍速でハイスピード再生となります。
(音声は消えます。)

■スローモーション再生 **LD(CAV/標準ディスク)**

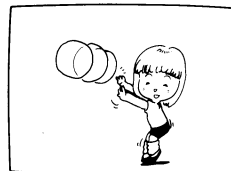
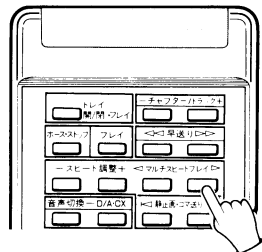
1 スピード調整キーの“-”キーを押し、スピードを設定します。

例) 1/2の速さで再生するには
この場合は1/2を表示させます。



画面で 1/2 を確認します。

2 マルチスピードプレイキーの“▷”キーを押します。 (逆転再生するときは、“◁”キーを押します。)

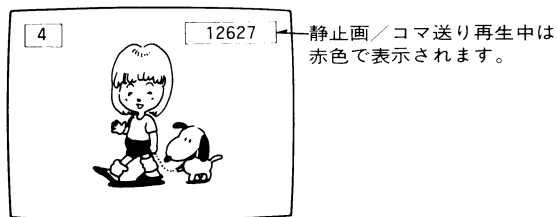
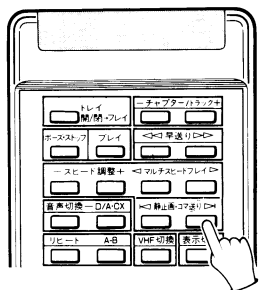


フレームナンバーが緑色に変わり、1/2の速さでスローモーション再生となります。
(音声は消えます。)

静止画／コマ送り再生 **LD** 見たい場面で止めるには

■静止画再生 **LD(CAV/標準ディスク)**

静止画・コマ送りキー(K、D)のどちらか一方を押すと、映像が静止します。



*再生するディスクによっては完全な静止画にはならず、画像がブレることがあります。

*標準再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

メモ

画面静止状態でも早送り、早戻しを行なうことができますので、見たい画面を素早く探すときに便利です。この状態で早送り、早戻しを行なった後は、静止画面となります。

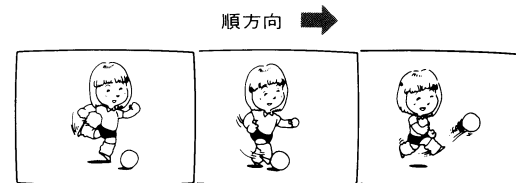
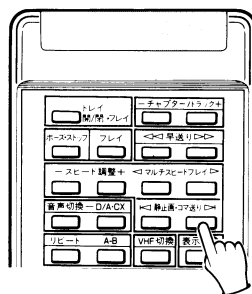
■コマ送り再生 **LD(CAV/標準ディスク)**

〔順方向〕

Dキーを押して静止画にした後、Dキーを押すたびに画面が順方向にコマ送りされます。

押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

*標準再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

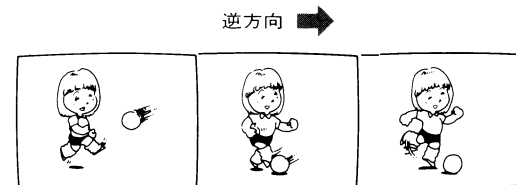
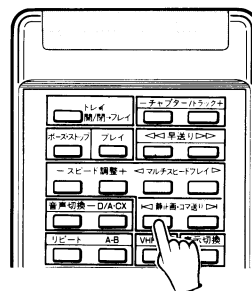


〔逆方向〕

Kキーを押して静止画にした後、Kキーを押すたびに画面が逆方向にコマ送りされます。

押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

*標準再生に戻すときは、プレイキーを押してください。



インデックスサーチ **CDV, CD**

インデックスナンバーから再生するには

●インデックスナンバーとは

クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

●インデックスナンバーが記録されているCDディスクには **IN:DEX** マークがディスクの解説書に記載されています。

例) トラック2のインデックスナンバー3から再生を始めるときには
再生したいトラック(曲)を選んだあとに、**インデックスキー**と**テン(1~0)キー**を使い、再生を始めたいインデックスナンバーを指定します。

1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3

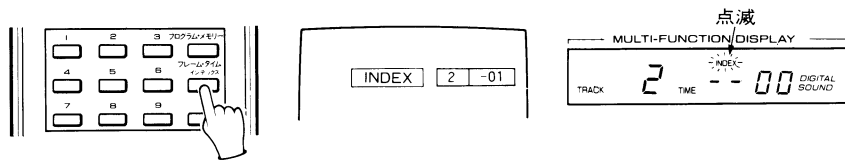
ここから演奏をはじめます。

1 テン(1~0)キーまたはトラックキーを使い、再生するトラックを指定します。

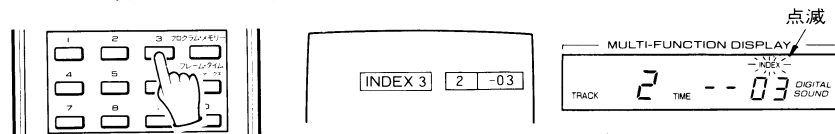
この場合は「2」です。



2 インデックスキーを押します。



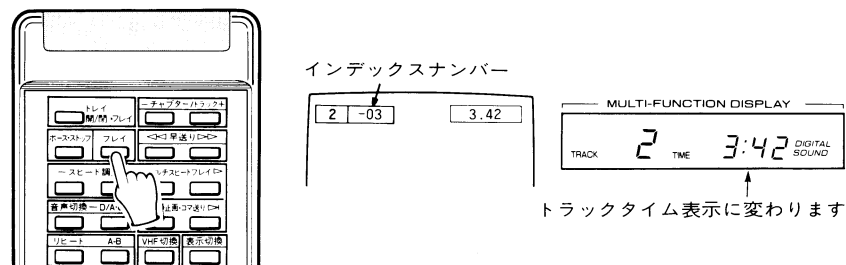
3 テン(1~0)キーを押してインデックスナンバーを指定します。 この場合は「3」です。



4 プレイキーを押します。

2曲目のインデックスナンバー3から再生がスタートします。

●プレイキーのかわりにポーズ・ストップキーを一回押しますと、指定したインデックスをサーチし、その位置でポーズとなります。



* 選択したトラックに記録されているインデックスナンバーより大きな数字を指定しますと、次のトラックを再生します。またオーディオパートの最後のトラックに同様の指定をしますと、ストップ状態になります。

* インデックスナンバーが記録されていないディスクの再生中も画面には「1」が表示されます。

* インデックスナンバーが記録されていないディスクに「2」以上のインデックスナンバーを指定しますと次の曲から再生します。

* 指定中に**インデックスキー**を続けて押しますと、インデックスサーチを解除することができます。

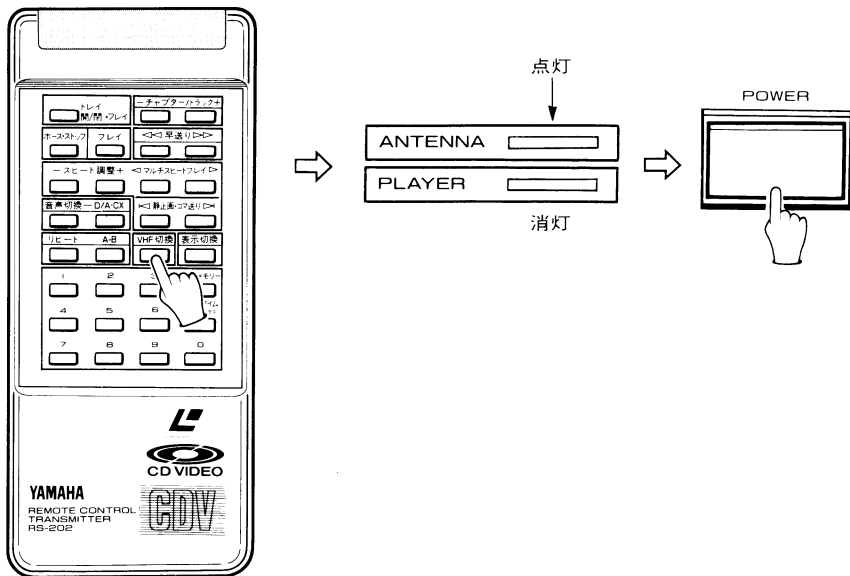
テレビ放送を見るには

■映像・音声入力端子なしテレビの場合

リモコンのVHF切換キーを押し、本体のVHF OUTインジケータのANTENNAを点灯させます。

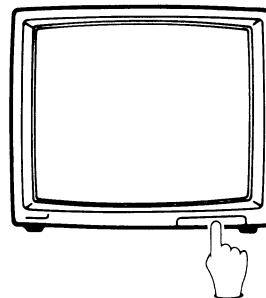
VHFアンテナは本機を経由してテレビにつながります。

*ディスクを再生中にVHF OUTインジケータのANTENNAを点灯させた場合には、画面はテレビ放送に切り換わっていますが、ディスクは再生を続けています。長時間テレビ放送をご覧になる場合は、本機の電源スイッチを切るようにしてください。

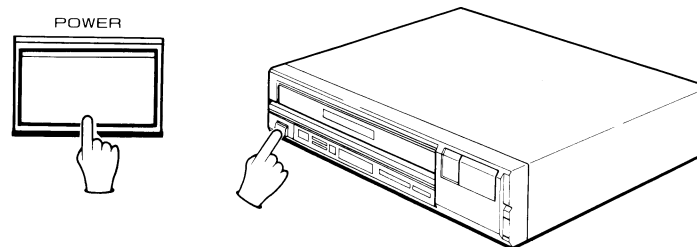


■映像・音声入力端子付テレビの場合

- 1 テレビのチャンネルまたはテレビ／ビデオ切換スイッチを“テレビ”に切り換えます。(テレビの取扱説明書をご参照ください。)



- 2 電源スイッチを切ります。



ご注意

テレビ放送の電波が弱い地域では、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、画面にしま模様が出ることがありますが故障ではありません。このような場合は、本機のPOWERスイッチを押して電源を切ってください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

LD、CDV、CD共通

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差込んでください
再生が始まらない	ディスクがセットされていない	ディスクをセットしてください
ディスクトレイが出てきてしまう	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→ページ6)
	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→ページ5)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	電池を交換してください(→ページ18)
	リモコン操作の距離、角度が適切でない	7m以内、30°以内で操作してください(→ページ18)
リモコンを操作するとテレビが誤動作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビを使用している場合	テレビが本機のそばにセットされている
ブーンというハム音が出る	接続コードのプラグの接続不良	接続コードのプラグをしっかり差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください

LD、CDVのビデオパート再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	テレビ(カラーモニター)の電源が切れている	テレビ(カラーモニター)の電源を入れてください
	接続が不完全	正しく接続し直してください(→ページ8~13)
	テレビのVHF入力を使用している場合	本機の送り出しチャンネルとテレビのチャンネルが合っていない
	ANTENNAインジケータが点灯している	テレビのチャンネルを空チャンネル(1CH、2CHのうち放送のない方)にセットし、本機のCHANNEL切換スイッチを1CH→L、2CH→Hにしま(→ページ9)
	片面ディスクを裏がえしにセットしている	VHF切換キーを一回押して、PLAYERインジケータを点灯させます
テレビ番組(VHF放送)が映らない	VHFアンテナの接続が不完全	見たいレーベル面を上にしてセットしてください
	PLAYERインジケータが点灯している	VHFアンテナを正しく接続し直してください(→ページ8~13)
テレビ番組(UHF放送)が映らない	UHFアンテナを本機のANT IN端子に接続している	VHF切換キーを一回押して、ANTENNAインジケータを点灯させるか、本機の電源を切ってください
テレビ番組の映りが悪い 画面にしま模様が入る	電波の弱い地域ではこのような症状が出る場合があります	UHFアンテナは、直接テレビのUHF入力端子に接続してください(→ページ8~13)
画質が悪い	ディスクがひどく汚れている	テレビ番組を見るときは本機の電源を切ってください
画面が乱れる	ディスクが変形(そりなど)している	クリーニングしてください(→ページ6)
		矯正すると変形が軽減されることがあります(→ページ5)

LD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	マルチスピード再生をしている	プレイキーを押して、標準再生モードにする
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合 音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください(→ページ12)
音声が不自然に聞こえる	ディスクのジャケットにCXマークがあるかどうか確認してください。	ジャケットの指示に従ってCX NRをONまたはOFFにしてください(→ページ26)
マルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができない	CLV/長時間ディスクを再生している	CLV/長時間ディスクはマルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができません。
チャプタースキップ チャプターサーチができない	チャプターナンバーが記録されていないディスクを再生している	リモコンの表示切換キーを押してチャプターナンバーが表示されるか確かめてください(→ページ24)
タイムナンバーサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	リモコンの表示切換キーを押して、タイムナンバーが「分」単位で記録されたディスクか、「秒」単位で記録されたディスクか確かめてください	タイムナンバーサーチ(→ページ30)を参照してください

CDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合 音声ケーブルの接続が不完全	音声ケーブルを正しく接続し直してください(→ページ12)
A-Bリピートができない	A、Bの2点がオーディオパートとビデオパートにまたがっている	A-Bリピートを参照ください(→ページ38)
プレイキーを押すとディスクの途中から再生が始まってしまう	CDVでは必ずビデオパートから再生がスタートします。	ディスクの最初から再生するときは、トラックキーでトラック1を指定してください(→ページ27)
タイムサーチを行なうと、指定した画面と違う所を再生する	指定したトラックタイムがそのトラックをオーバーしている または、指定したトータルタイムがオーディオパートをオーバーしている	タイムサーチ(→ページ31)を参照してください

CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクを入れても演奏が始まらない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→ページ6)
音が出ない	接続が不完全	正しく接続し直してください(ページ8~13)

参考仕様

型式	Philips MCA方式に基づく光学式ビデオディスクシステム (レーザービジョン方式)
使用ディスク	LD 全ての(NTSC)レーザービジョンディスク 30cm長時間ディスク(CLV) 両面最長2時間 再生可 30cm標準ディスク(CAV) " 1時間 " 20cm長時間ディスク(CLV) " 40分 " 20cm標準ディスク(CAV) " 28分 " CDV 12cmディスク ビデオパート 最長5分 再生可 オーディオパート " 20分 " CD 12cmディスク オーディオのみ 最長70分 再生可
回転数	LD 長時間ディスク 1800~600rpm(30cmディスク時) 標準ディスク 1800rpm CDV ビデオパート 2700~1800rpm オーディオパート 500~300rpm CD 500~200rpm
周波数特性	2 Hz~20kHz±0.5dB(デジタル音声)
S/N比	97dB(デジタル音声)、70dB(アナログ音声 CX NR ON)
ダイナミックレンジ	94dB(デジタル音声)
チャンネルセパレーション	90dB以上(1kHz)(デジタル音声)
ワウ・フラッタ	測定検知限以下(デジタル音声)
高周波歪率+雑音	0.003%(1kHz 0dB)
水平解像度	425本
付属端子 I/O PORT	将来、本機の機能を外部コントロールする場合に使用する端子 です。

■入出力端子

入力	ANT IN	VHF入力(75Ω)
出力	VIDEO SIGNAL	1 Vp-p(75Ω負荷時、同期負) ピンジャック
	VHF OUT	NTSC方式標準TV受像機に適合 F型ジャック(75Ω不平衡) 1チャンネル/2チャンネル 切り 換え可
	MONO	モノラルTV、VTR用 ピンジャック
	AUDIO SIGNAL	200mV(1kHz、40%:アナログサウンド)ステレオピンジャック 200mV(1kHz、-20dB:デジタルサウンド) " デジタルサウンドで記録されたディスクの場合はデジタル音声 で、アナログサウンドで記録されたディスクの場合は、自動的 にアナログ音声で出力されます。

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	25W
重量	8kg
外形寸法	435(W)×111.5(H)×401(D)mm
許容動作温度/湿度	+5~35°C / 0~90%(結露のないこと)

■付属品

リモートコントロールユニット (RS-202)
乾電池 単3(SUM-3)×2
F型プラグアダプター×1
RFケーブル×1
音声ケーブル×1
映像ケーブル×1

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

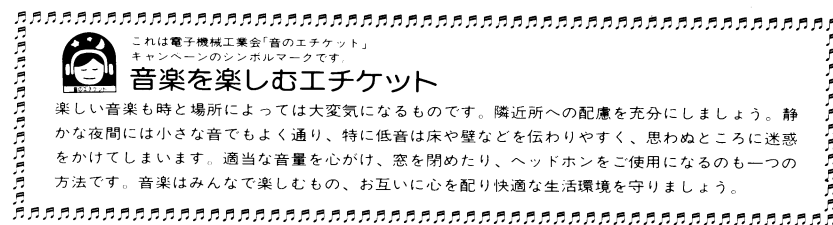

オペレーションガイド

LD 再生

再生をするとき	19
再生を一時ストップするとき	21
再生をストップするとき	21
再生を早送り・早戻しするとき	22
ディスクを取り出すとき	23
画面の表示を切り換えるとき	
表示切換について	24
音声を切り換えるとき	
音声切換について	25
デジタル音声とアナログ音声を切り換えるとき	
D/A切換について	26
CX NRを使うとき／使わないとき	
CX NRについて	26
頭出し再生をするとき	
チャプタースキップ	27
チャプターサーチ	28
フレームナンバーサーチ	30
タイムナンバーサーチ	30
チャプターを選んで再生するとき	
プログラム再生	33
メモリーしたところから再生するとき	
メモリー再生	35
再生を繰り返すとき	
リピート再生	36
再生するスピードを変えるとき	
マルチスピード再生	39
再生中に画像を止めるとき	
静止画再生／コマ送り再生	40
テレビ放送を見るとき	42

CDV, CD 再生

再生をするとき	19
再生を一時ストップするとき	21
再生をストップするとき	21
再生を早送り・早戻しするとき	22
ディスクを取り出すとき	23
表示を切り換えるとき	
表示切換について	24
音声を切り換えるとき	
音声切換について	25
頭出し再生をするとき	
トラックスキップ	27
トラックサーチ	29
トラックタイムサーチ	31
トータルタイムサーチ	32
トラックを選んで再生するとき	
プログラム再生	34
メモリーしたところから再生するとき	
メモリー再生	35
再生を繰り返すとき	
リピート再生	38
インデックスから再生するとき	
インデックスサーチ	41
テレビ放送を見るとき	42

  これは電子機械工業会「音のエチケット」
キャンペーンのシンボルマークです。
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

(昭和62年6月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービジョンプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後最低8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911 番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器浜松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 北関東営業所 TEL(03)255-1825 東京営業所 TEL(03)255-2302
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

定休日 日・月・祭日

営業時間 午前9時～午後5時30分(本社 午前8時～午後5時)

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

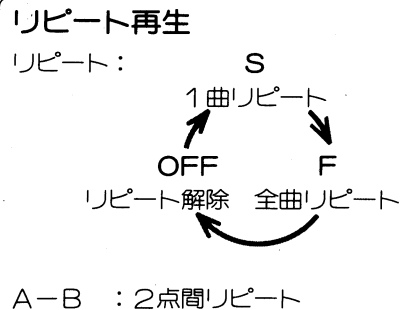
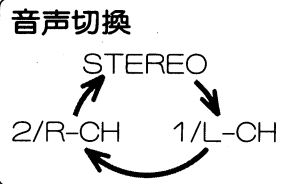
国内営業部 TEL.(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

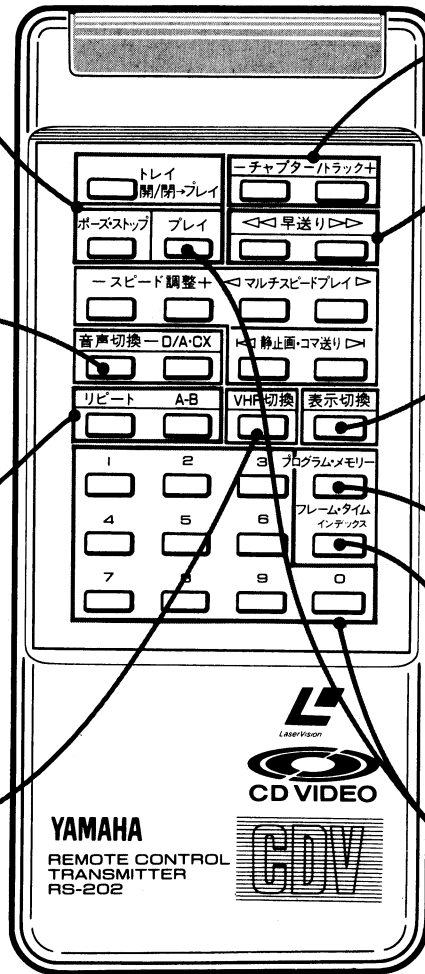
CDV、CD操作チャート

CDV、CDの基本操作

トレイ開/閉→プレイ：トレイが開く
 トレイが閉まり
 再生スタート
 プレイ：再生スタート
 ポーズ・ストップ：1度押し…一時停止
 2度押し…停止



VHF切換
 CDV(CD)再生とTV放送の切り換え
 ※アンテナ接続しているときのみ



トラックスキップ
 +：次のトラック(曲)の頭出し
 -：再生中のトラック(曲)の頭出し

早送り再生
 ≫：正方向
 ≪：逆方向

表示切換
 ●CDV(ビデオパート)
 トラック、インデックスナンバー
 トラックタイムの画面表示
 ●CDV(オーディオパート)、CD
 トラックタイム、トータルタイム
 リメインタイムの表示切り換え

プログラム/タイムメモリー
 プログラム：プログラムのセッティング
 タイムメモリー：トラック(曲)の好きな
 ところをメモリー

インデックスサーチ
 インデックスの頭出し
 タイムメモリーしたところの呼び出し
 (2回押す)

トラックサーチ
 10キー+プレイ：ご希望のトラック
 (曲)の頭出し

●詳細は取扱説明書をご覧ください。

CDV-1000

VD90810-0

LD操作チャート

LDの基本操作

トレイ開/閉→プレイ：トレイが開く
 トレイが閉まり
 再生スタート
 プレイ：再生スタート
 ポーズ・ストップ：1度押し…一時停止
 2度押し…停止

マルチスピード再生

▷：正方向
 ◁：逆方向
 +：速くなる
 -：遅くなる

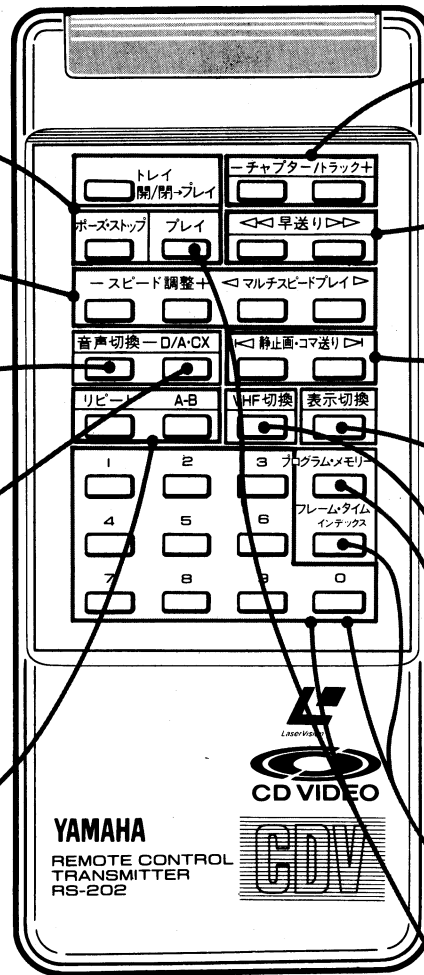
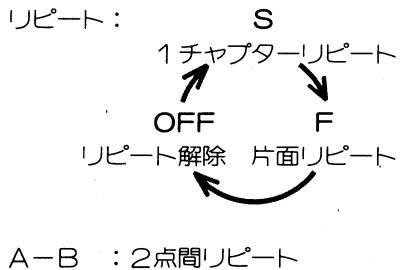
音声切換



D/A・CX

D/A：デジタル音声とアナログ
 音声の切り換え
 CX：CX-NRのON/OFF

リピート再生



チャプタースキップ

+：次のチャプターの頭出し
 -：再生中のチャプターの頭出し

早送り再生

▷▷：正方向
 ◁◁：逆方向

静止画/コマ送り再生

◁または▷：静止画再生
 ▷：正方向のコマ送り
 ◁：逆方向のコマ送り

表示切換

チャプター、タイム、フレーム
 ナンバーの画面表示

VHF切換

LD再生とTV放送の切り換え
 ※アンテナ接続しているときのみ

プログラム・フレーム/タイムナンバーメモリー

プログラム：プログラムのセッティング
 フレーム/タイムナンバーメモリー：
 ディスクの好きなところをメモリー

フレーム/タイムナンバーサーチ

フレーム・タイム+10キー+プレイ

チャプターサーチ

10キー+プレイ：ご希望のチャプターの頭出し

●詳細は取扱説明書をご覧ください。

CDV-1000